

西東京市
住意識アンケート調査結果

西東京市
2023 年 6 月

1 調査の目的

本調査は、次期西東京市住宅マスタープランの策定のために必要となる基礎資料として、市民の住宅及び住環境に対するニーズの把握することを目的に実施しています。

2 調査の対象

市内に居住する 18 歳以上の市民

3 調査方法

郵送配布、郵送回収および Web 回答の併用

4 調査期間

令和 5 年 5 月 17 日（水）～ 6 月 9 日（金）

5 配布数

3,000 件

6 抽出方法

層化無作為抽出（地域別）

	人口（人）	抽出数（人）
南部	52,549	765
中部	46,715	681
西部	55,640	811
北東部	51,039	743
合計	205,943	3,000

※令和 5 年 4 月 1 日時点
※ $3,000 \times \text{圏域人口} / \text{全人口}$

7 標本数、回収数

有効配布数 2,989 件
（発送数 3,000 から不達など 11 を除いた数）

回収数 1,005 件（郵送 790 件、Web 215 件）

有効回収率 33.6%

※参考地域別の回答状況

	配布数	不達	有効配布数	回収数	有効回収率
南部	765	4	761	233	30.6%
中部	681	2	679	222	32.7%
西部	811	3	808	278	34.4%
北東部	743	2	741	266	35.9%
合計	3,000	11	2989	1,005	33.6%

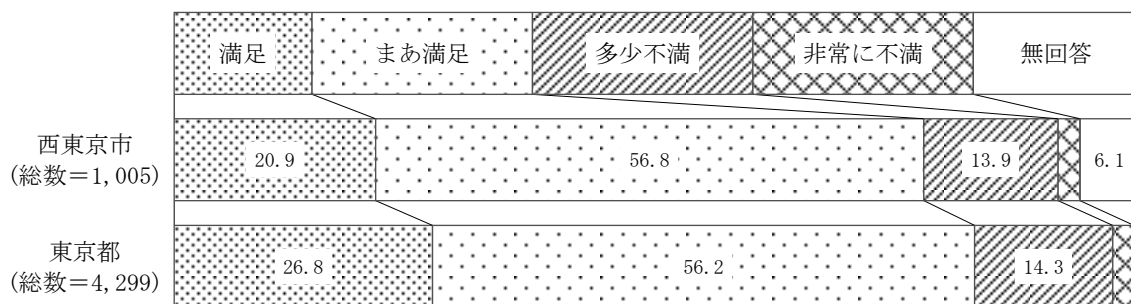
目次

問1. 「住宅」と「住宅まわりの環境」に対する総合的な満足度.....	1
問1-1. 「住宅」に対する総合的な満足度.....	2
問1-2. 「住宅まわりの環境」に対する総合的な満足度.....	3
問2. 「住宅」に対する満足度.....	4
問2. 「住宅まわりの環境」に対する満足度.....	6
問2-1. 「住宅」と「住宅まわりの環境」について重要と思うもの.....	8
問3. 現在の住まいへ住み替えた時の目的や理由.....	10
問4. 現在の住宅に住み続けたいか.....	11
問4-1. 転居したい理由.....	12
問4-2. 転居先の住宅の種類.....	13
問5. 転居しようとした時に困ること、または転居しようとしてできなかった理由.....	14
問6. 自身が亡くなったり、施設に入所したりして住まなくなった場合の相続・継承の見通し	15
問6-1. 自身が亡くなったり、施設に入所したりして空き家になった場合の活用方法.....	16
問7. 親の家など、使っていない住宅について困っていること.....	17
問8. 同居の有無と近居の距離.....	18
問9. 親世帯や子ども世帯との関係.....	19
問10. 親世帯や子ども世帯の住宅の種類.....	20
問11. 現在の親世帯や子ども世帯との住まい方の距離について.....	21
問12. 現在の住まい方（同居・近居）をするまでの経緯.....	22
問13. 将来、親世帯や子ども世帯に望む住まい方.....	23
問14. 新型コロナウイルス感染症拡大前後で在宅時間の変化.....	24
問15. 新型コロナウイルス感染症拡大による住生活の変化や困りごとについて.....	25
問16. 現在の住まいについての困りごと.....	26
問17. 今後の住宅に対する取組みとして特に重要だと思うもの.....	27
問18. 今後の住環境に対する取組みとして特に重要だと思うもの.....	28
問19. 現在の住まいの居住年数.....	29
問20. 現在の住宅の種類.....	30
問20-1. 持家の場合、現在の住まいを取得した方法.....	31
問20-2. 借家に住まいの理由.....	32
問21. 住まいの建築時期.....	33
問22. 住まいの広さ.....	34
問23. 住まいの月額に住居費.....	35
問24. 住まいの住居費について感じていること.....	36
問25. 年齢.....	37
問26. 勤務先等.....	38

問 27. 世帯の種類.....	39
問 27. 世帯の種類／5 区分.....	40
問 28. 世帯人員数.....	41
問 29. 18 歳未満の子どもがいる世帯	42
問 29. 18 歳未満の子どもがいる世帯／2 区分.....	43
問 29-1. 子育てをする上で住宅に関して困っていること	44
問 30. 自身も含めて世帯に要介護認定などを受けている方	45
問 31. 自身も含めて世帯に障害者手帳の交付や診断を受けている人	46
問 32. 居住地域	47
問 32. 居住地域／4 区分.....	48
■回答方法	49

問1. 「住宅」と「住宅まわりの環境」に対する総合的な満足度

単位：%（5%未満非表示）



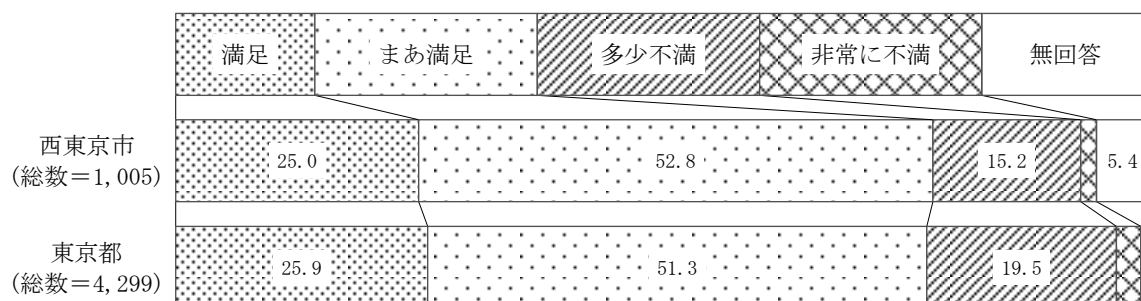
(注) 5%未満数値：西東京市 (2.3)、東京都 (2.2 0.5)

「住宅」と「住宅まわりの環境」に対する総合的な満足度は、「満足」が20.9%、「まあ満足」が56.8%で「満足率（満足+まあ満足）」は77.7%、「多少不満」が13.9%、「非常に不満」が2.3%で「不満足率（多少不満+非常に不満）」は16.2%となっています。

東京都（平成30年住生活総合調査）と比較すると、「満足」が東京都（26.8%）と比較してやや低くなっています。「不満足率」（西東京市16.2%、東京都16.5%）は、ほぼ差がないものの、「満足率」（西東京市77.7%、東京都83.0%）はやや西東京市が低くなっています。

問1-1. 「住宅」に対する総合的な満足度

単位：％（5％未満非表示）



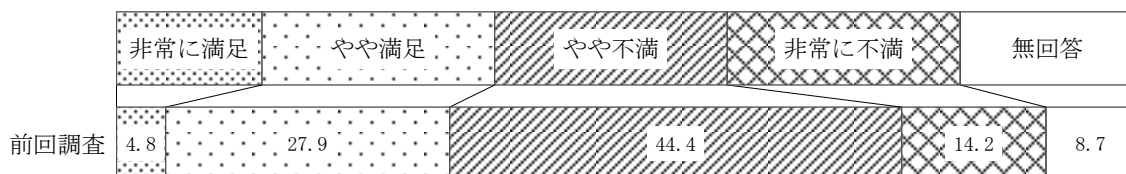
(注) 5%未満数値：西東京市（1.6）、東京都（2.5 0.8）

「住宅」に対する総合的な満足度は、「満足」が25.0%、「まあ満足」が52.8%で「満足率（満足+まあ満足）」は77.8%、「多少不満」が15.2%、「非常に不満」が1.6%で「不満率（多少不満+非常に不満）」は16.8%となっています。

東京都（平成30年住生活総合調査）と比較すると、「満足率」（西東京市77.8%、東京都77.2%）、「不満率」（西東京市16.8%、東京都22.0%）となっており、西東京市の方が「満足率」が高く、「不満率」が低くなっています。

総数=1,270

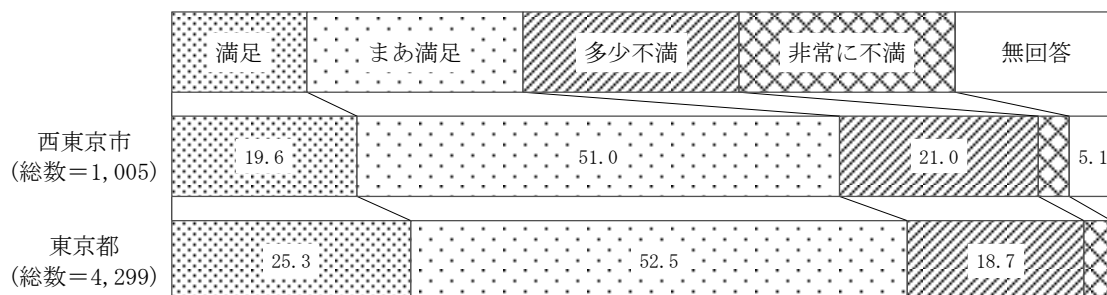
単位：％（5％未満非表示）



前回調査（平成24年度）では住宅についての総合調査は、「満足率（非常に満足+やや満足）」は32.7%、「不満率（やや不満+非常に不満）」は58.6%となっています。

問1-2. 「住宅まわりの環境」に対する総合的な満足度

単位：％（5％未満非表示）



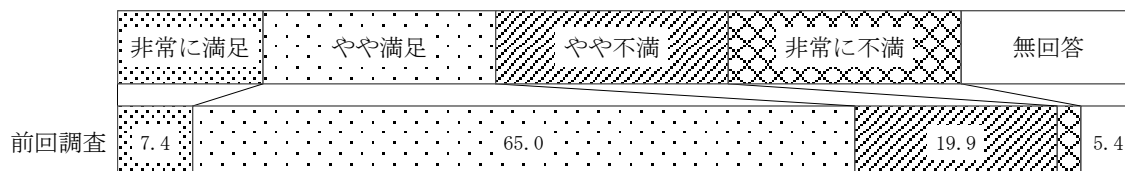
(注) 5%未満数値：西東京市（3.3）、東京都（2.9 0.6）

「住宅まわりの環境」に対する総合的な満足度は、「満足」が19.6、「まあ満足」が51.0%で「満足率（満足+まあ満足）」は70.6%、「多少不満」が21.0%、「非常に不満」が3.3%で「不満足率（多少不満+非常に不満）」は24.3%となっています。

東京都（平成30年住生活総合調査）と比較すると、「満足」が東京都（25.3%）と比較してやや低くなっています。「満足率」（西東京市70.6%、東京都77.8%）、「不満足率」（西東京市24.3%、東京都21.6%）となっており、西東京市の方が「満足率」が低く、「不満足率」が高くなっています。

総数=1,270

単位：％（5％未満非表示）



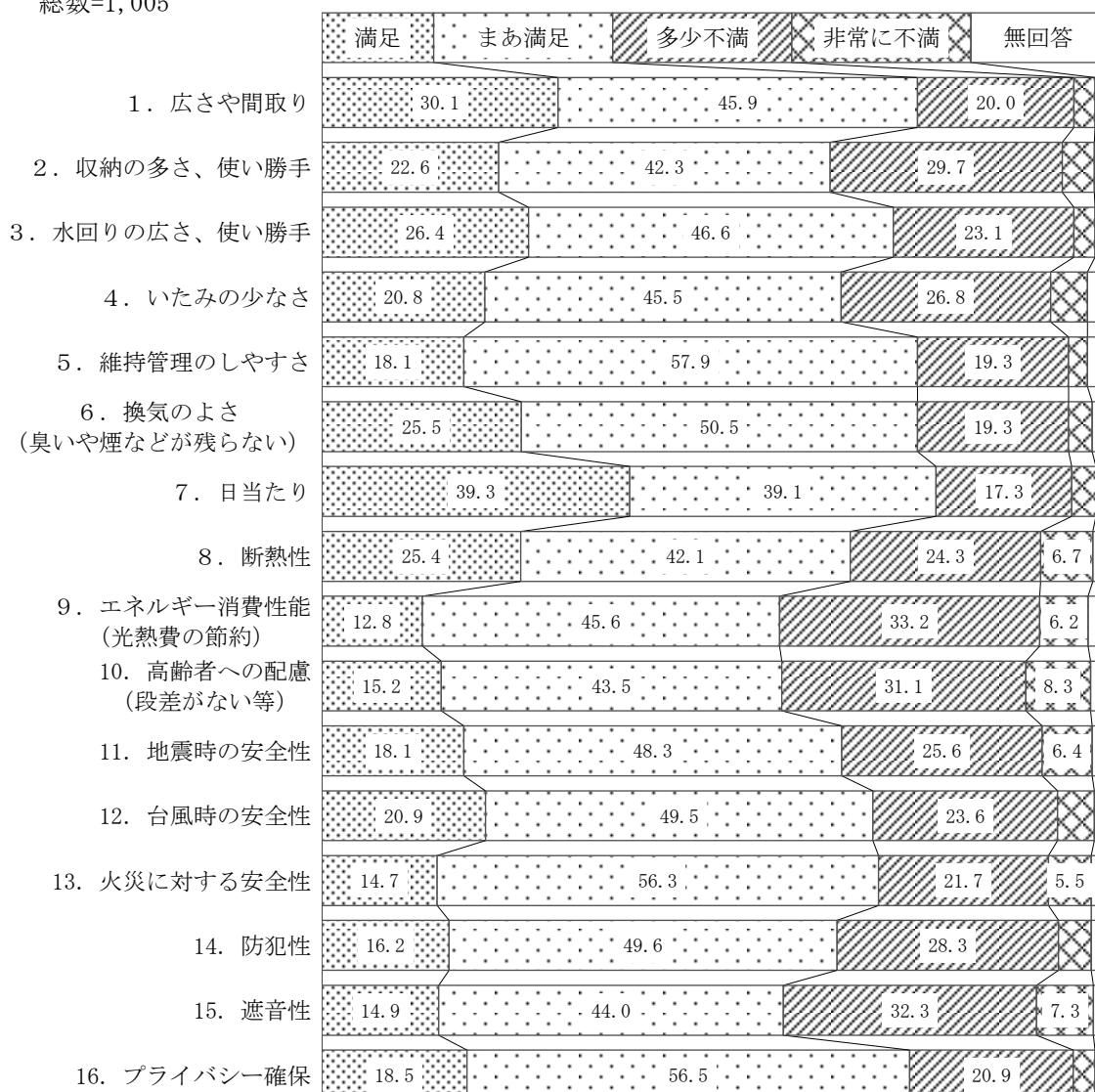
(注) 5%未満数値：前回調査（2.3）

前回調査（平成24年度）では住環境についての総合評価は、「満足率（非常に満足+やや満足）」は72.4%、「不満足率（やや不満+非常に不満）」は22.2%となっています。

問2. 「住宅」に対する満足度

単位：％（5％未満非表示）

総数=1,005



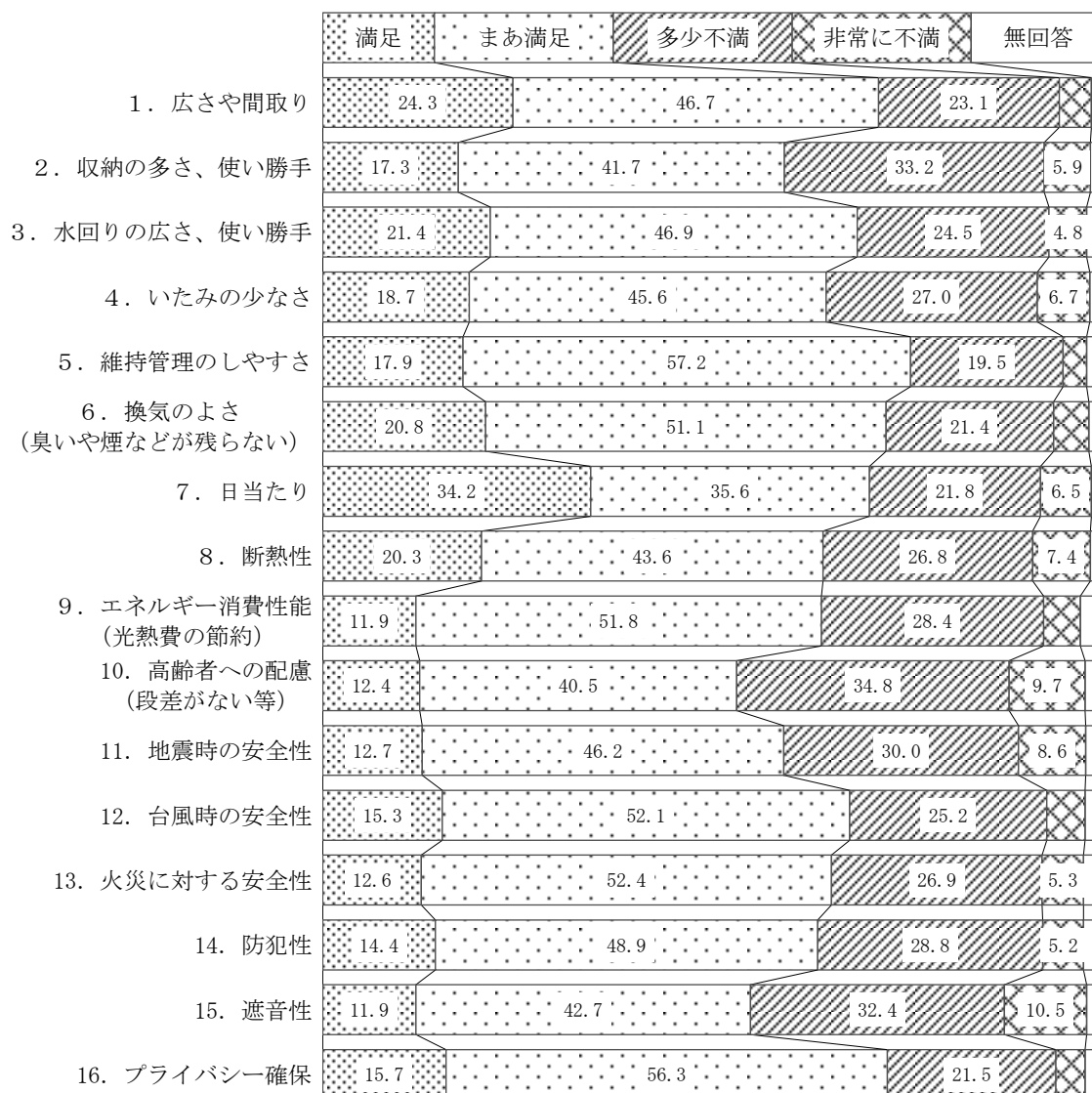
(注) 5%未満数値：1. 広さや間取り(2.7 1.3) 2. 収納の多さ、使い勝手(4.1 1.4) 3. 水回りの広さ、使い勝手(2.7 1.3) 4. いたみの少なさ(4.7 2.3) 5. 維持管理のしやすさ(2.4 2.3) 6. 換気のよさ (臭いや煙などが残らない) (3.0 1.7) 7. 日当たり(3.1 1.2) 8. 断熱性(1.6) 9. エネルギー消費性能 (光熱費の節約) (2.2) 10. 高齢者への配慮 (段差がない等) (1.9) 11. 地震時の安全性(1.7) 12. 台風時の安全性(4.7 1.4) 13. 火災に対する安全性(1.8) 14. 防犯性(4.2 1.8) 15. 遮音性(1.5) 16. プライバシー確保 (2.8 1.3)

住宅に関する満足度については、「満足」という回答は「日当たり」が39.3%で最も多く、次いで「広さや間取り」が30.1%となっている。「非常に不満」という回答は「高齢者への配慮 (段差がない等)」が8.3%で最も多く、次いで「遮音性」が7.3%となっています。

「多少不満」＋「非常に不満」を合わせたものは、「遮音性」が39.6%、「エネルギー消費性能」と「高齢者への配慮」が39.4%と高くなっています。

【参考】東京都の住宅に対する満足度

単位：％（5％未満非表示）



出典：平成 30 年住生活総合調査 調査報告書（東京都）

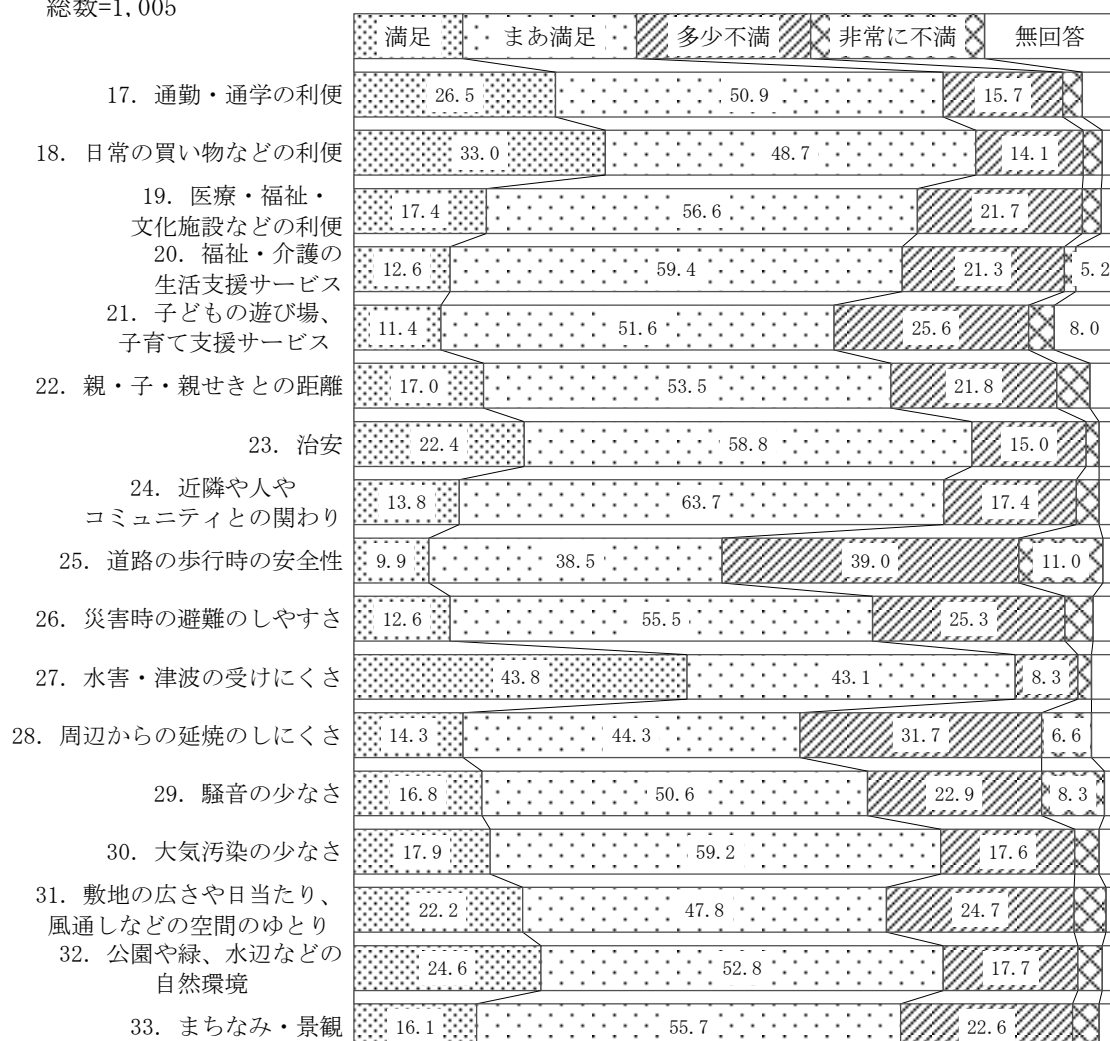
東京都と比較すると、西東京市では「エネルギー消費性能（光熱費の節約）」以外の項目で、「満足」＋「まあ満足」を合わせたものが上回っており、「多少不満」＋「非常に不満」を合わせたものが下回っているなど、住宅に対する満足度が高いことが推測されます。

近年の光熱費の上昇等の影響も考えられますが、「エネルギー消費性能（光熱費の節約）」では、「満足」＋「まあ満足」を合わせたもの（西東京市 58.4%、東京都 63.7%）が下回っており、「多少不満」＋「非常に不満」を合わせたもの（西東京市 39.4%、東京都 33.1%）が上回っています。

問2. 「住宅まわりの環境」に対する満足度

単位：%（5%未満非表示）

総数=1,005



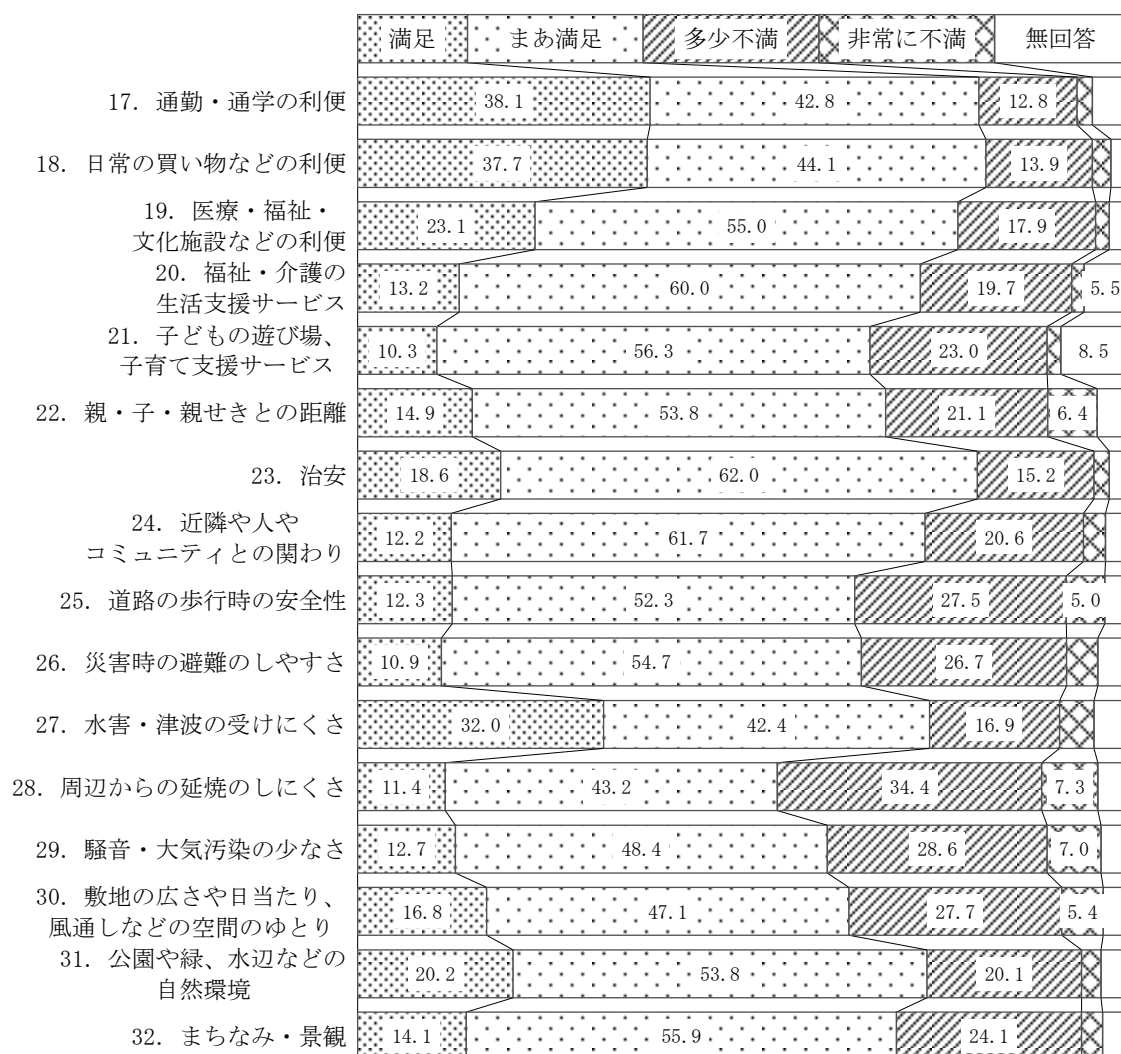
(注) 5%未満数値：17. 通勤・通学の利便(2.6 4.3)18. 日常の買い物などの利便(2.5 1.7)19. 医療・福祉・文化施設などの利便(2.5 1.8)20. 福祉・介護の生活支援サービス(1.5)21. 子どもの遊び場、子育て支援サービス(3.4)22. 親・子・親せきとの距離(4.4 3.3)23. 治安(1.7 2.1)24. 近隣や人やコミュニティとの関わり(3.0 2.1)25. 道路の歩行時の安全性(1.6)26. 災害時の避難のしやすさ(3.7 2.9)27. 水害・津波の受けにくさ(1.8 3.1)28. 周辺からの延焼のしにくさ(3.1)29. 騒音の少なさ(1.4)30. 大気汚染の少なさ(3.2 2.1)31. 敷地の広さや日当たり、風通しなどの空間のゆとり(4.2 1.2)32. 公園や緑、水辺などの自然環境(3.2 1.7)33. まちなみ・景観(3.5 2.1)

住環境に関する満足度については、「満足」という回答は「水害・津波の受けにくさ」が43.8%で最も多く、次いで「日常の買い物などの利便」が33.0%となっています。「非常に不満」という回答は「道路の歩行時の安全性」が11.0%で最も多く、次いで「騒音の少なさ」が8.3%となっています。

「多少不満」＋「非常に不満」を合わせたものは、「道路の歩行時の安全性」が50.0%と「満足」＋「まあ満足」(48.4%)を上回っており、「周辺からの延焼のしにくさ」が38.3%と高くなっています。

【参考】東京都の住宅まわりの環境に対する満足度

単位：％（5％未満非表示）

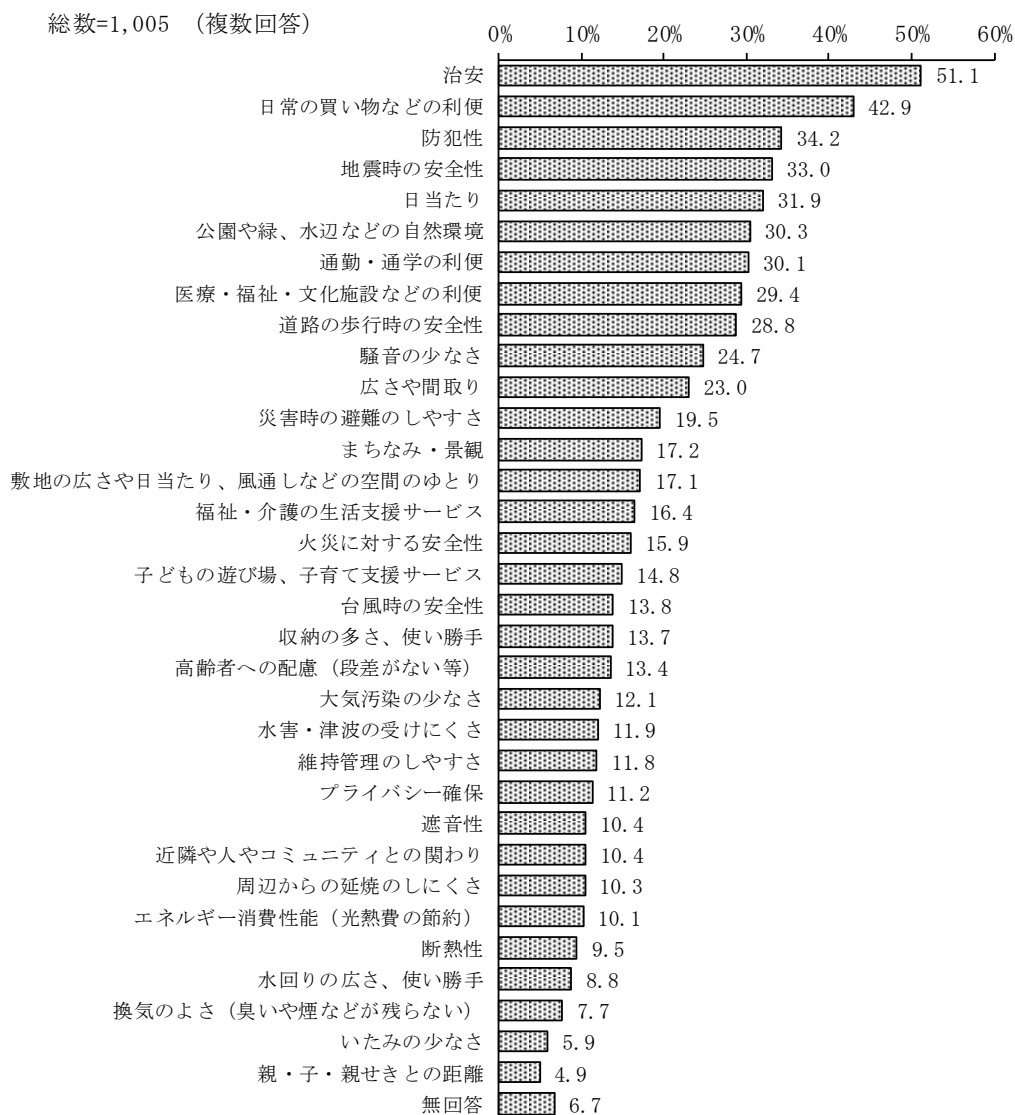


出典：平成30年住生活総合調査 調査報告書（東京都）

東京都と比較すると、10ポイント以上の差がある項目は、西東京市では「道路の歩行時の安全性」では、「満足」＋「まあ満足」を合わせたもの（西東京市48.4%、東京都64.6%）が下回っており、「多少不満」＋「非常に不満」を合わせたもの（西東京市50.0%、東京都32.5%）が上回っています。

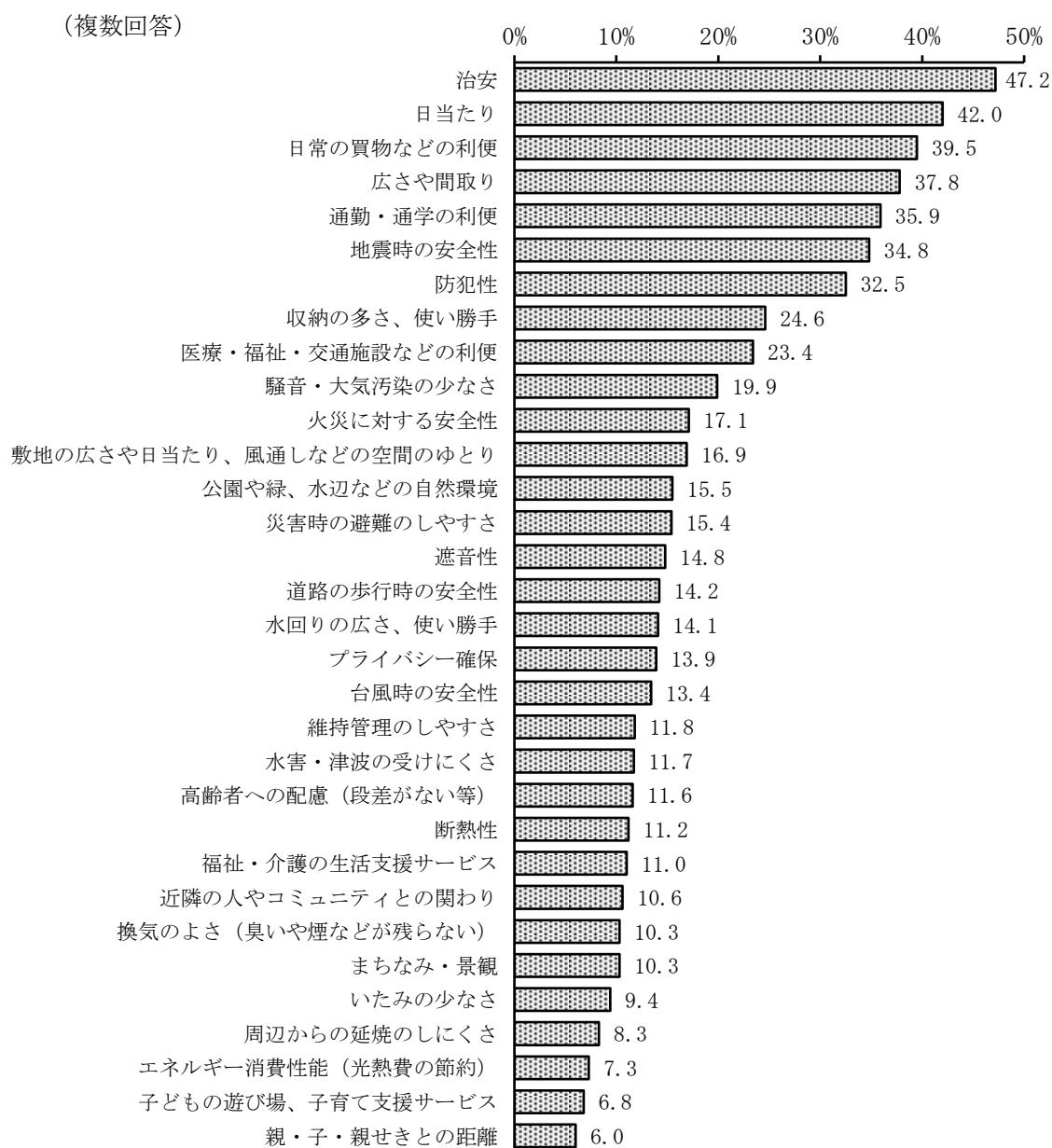
「水害・津波の受けにくさ」では、「満足」＋「まあ満足」を合わせたもの（西東京市86.9%、東京都74.4%）が上回っており、「多少不満」＋「非常に不満」を合わせたもの（西東京市10.0%、東京都21.4%）が下回っています。

問2-1. 「住宅」と「住宅まわりの環境」について重要と思うもの



「治安」が 51.1% で最も多く、「日常の買い物などの利便」が 42.9%、「防犯性」が 34.2%、「地震時の安全性」が 33.0% で続きます。

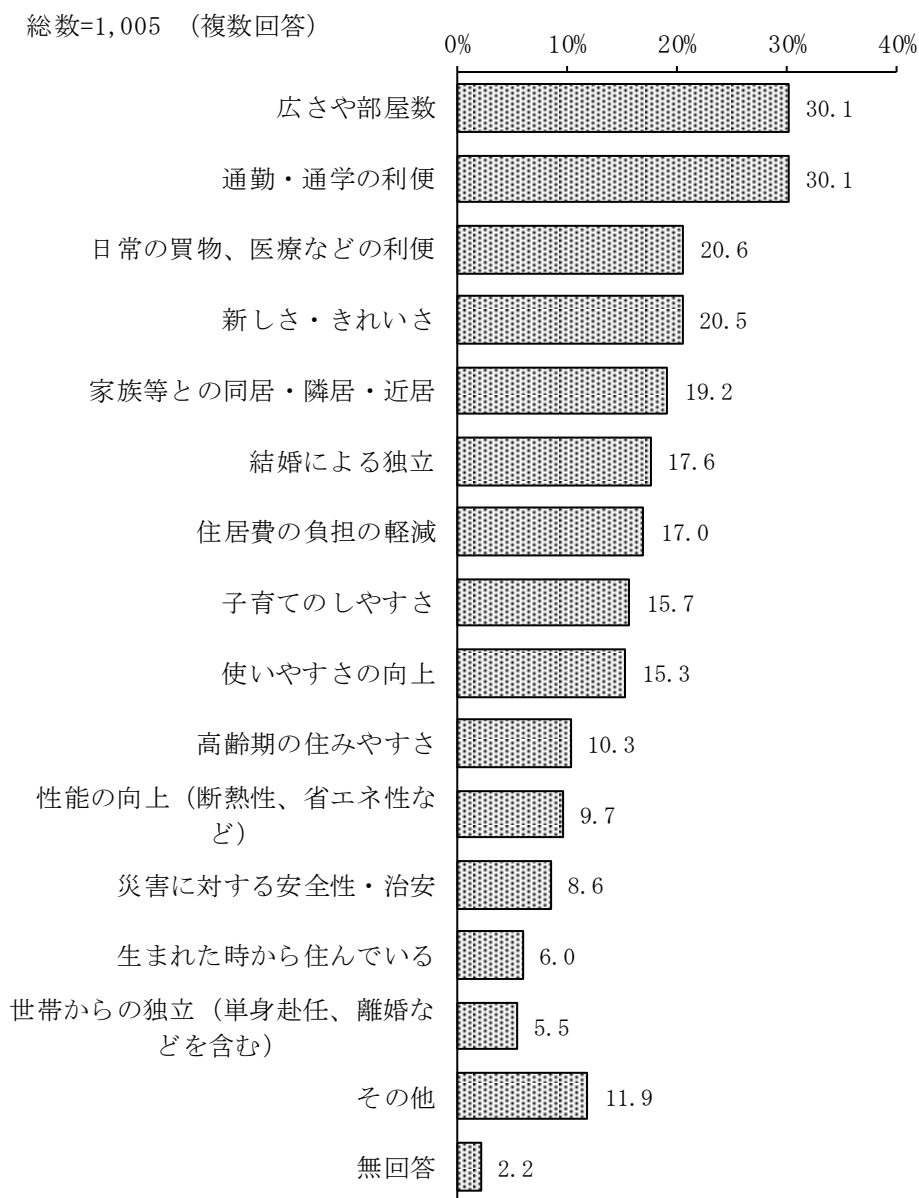
【参考】東京都の住宅」と「住宅まわりの環境」について重要と思うもの



出典：平成 30 年住生活総合調査 調査報告書（東京都）

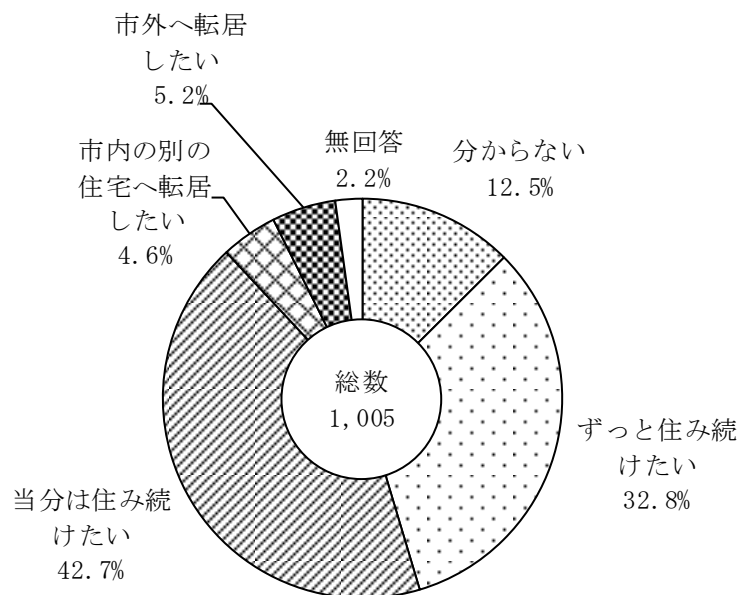
東京都と比較すると、10ポイント以上の差がある項目で西東京市が下回っているものは、「広さや間取り」（西東京市 23.8%、東京都 37.8%）、「収納の多さ、使い勝手」（西東京市 13.7%、東京都 24.6%）、「日当たりのよさ」（西東京市 31.9%、東京都 42.0%）となっています。西東京市が上回っているものは、「道路の歩行時の安全性」（西東京市 28.8%、東京都 14.2%）、「公園や緑、水辺などの自然環境」（西東京市 30.3%、東京都 15.5%）となっています。

問3. 現在の住まいへ住み替えた時の目的や理由



「広さや部屋数」と「通勤・通学の利便」が30.1%で最も多く、「日常の買物、医療などの利便」が20.6%、「新しさ・きれいさ」が20.5%で続きます。

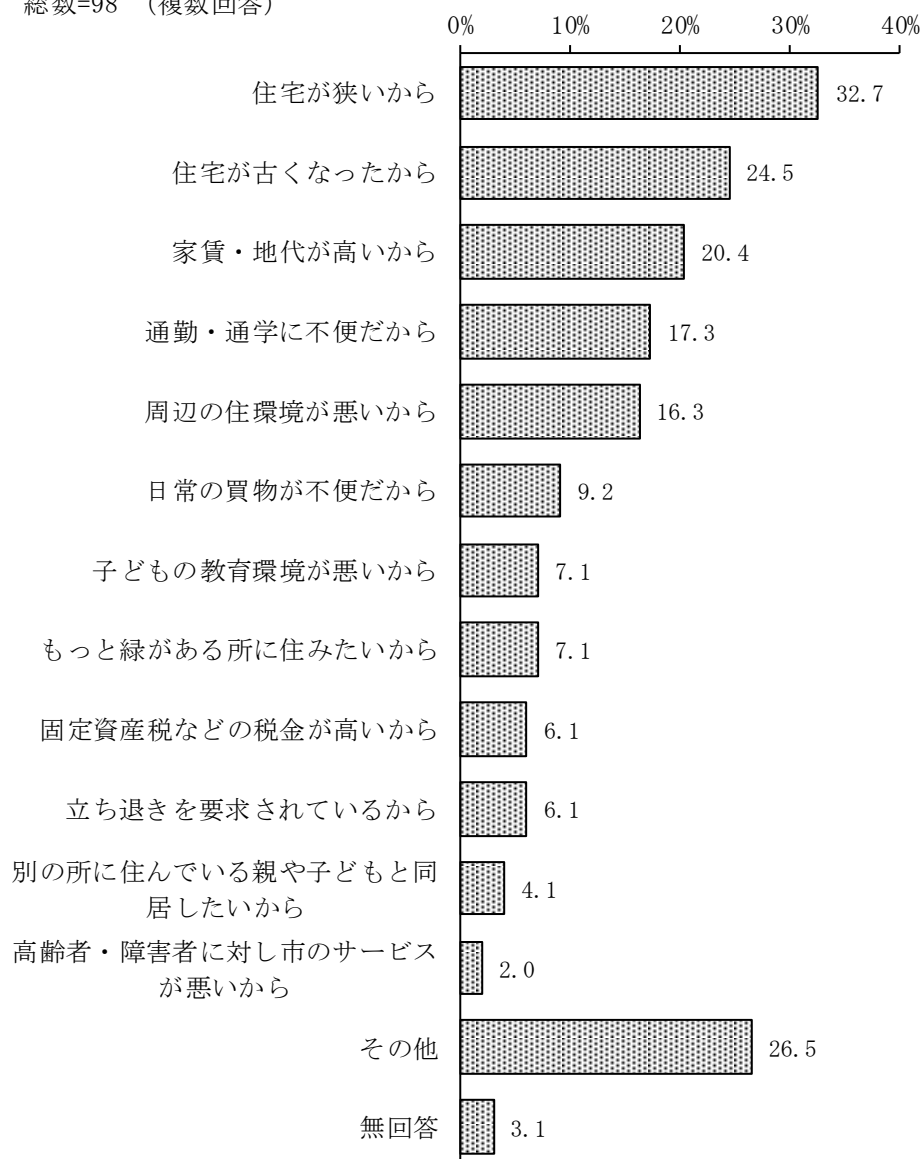
問4. 現在の住宅に住み続けたいか



「当分は住み続けたい」が42.7%で最も多く、「ずっと住み続けたい」が32.8%、「分からない」が12.5%、「市外へ転居したい」が5.2%で続きます。

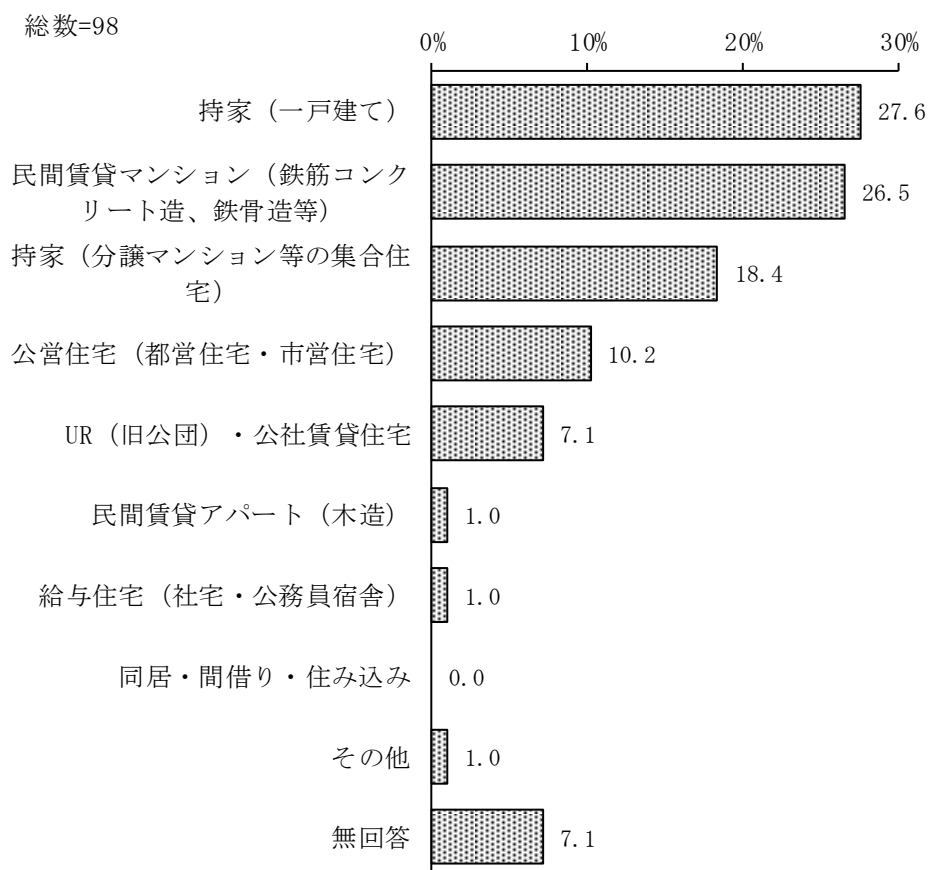
問4-1. 転居したい理由

総数=98 (複数回答)



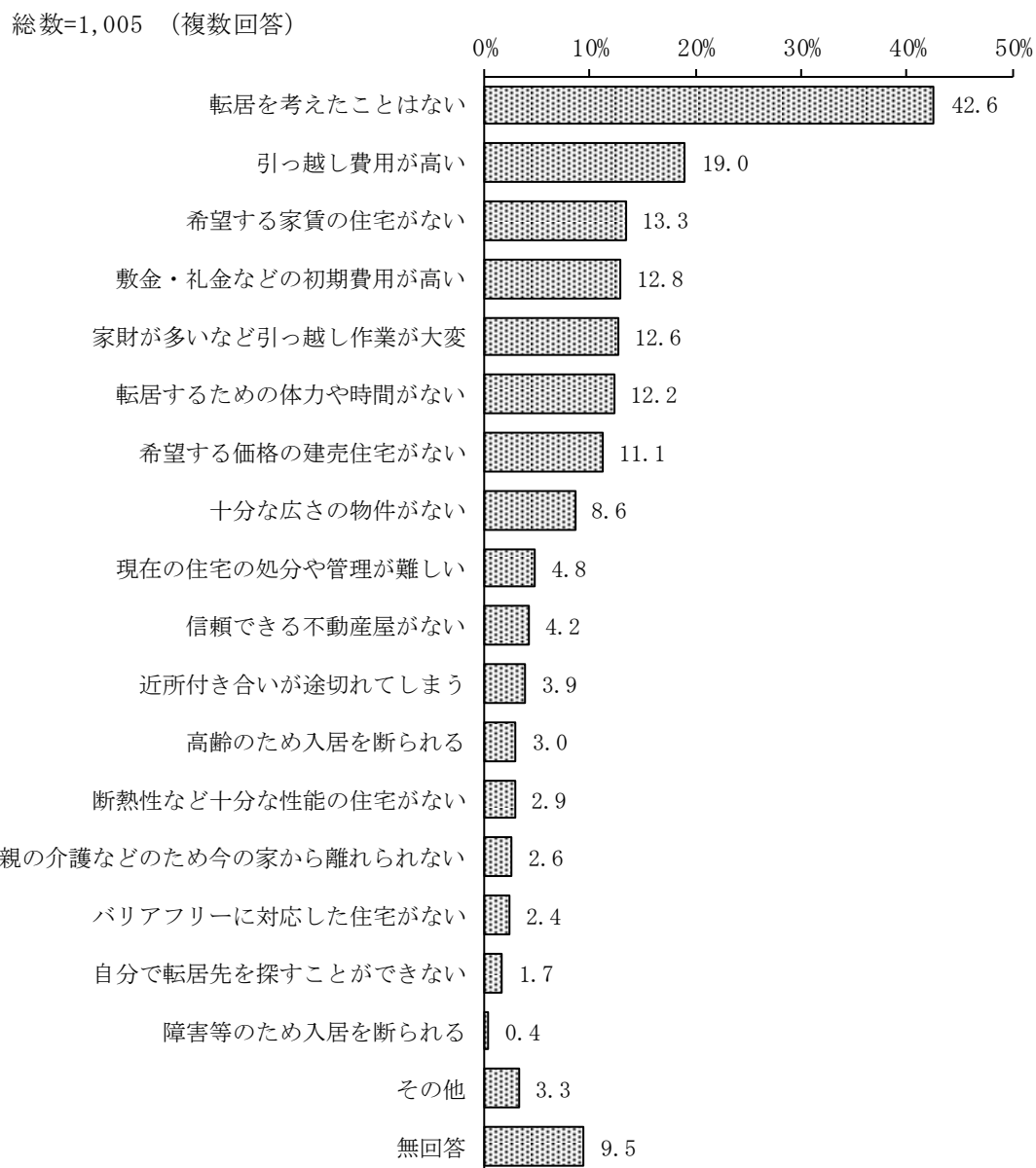
「住宅が狭いから」が 32.7%で最も多く、「住宅が古くなったから」が 24.5%、「家賃・地代が高いから」が 20.4%、「通勤・通学に不便だから」が 17.3%で続きます。

問4-2. 転居先の住宅の種類



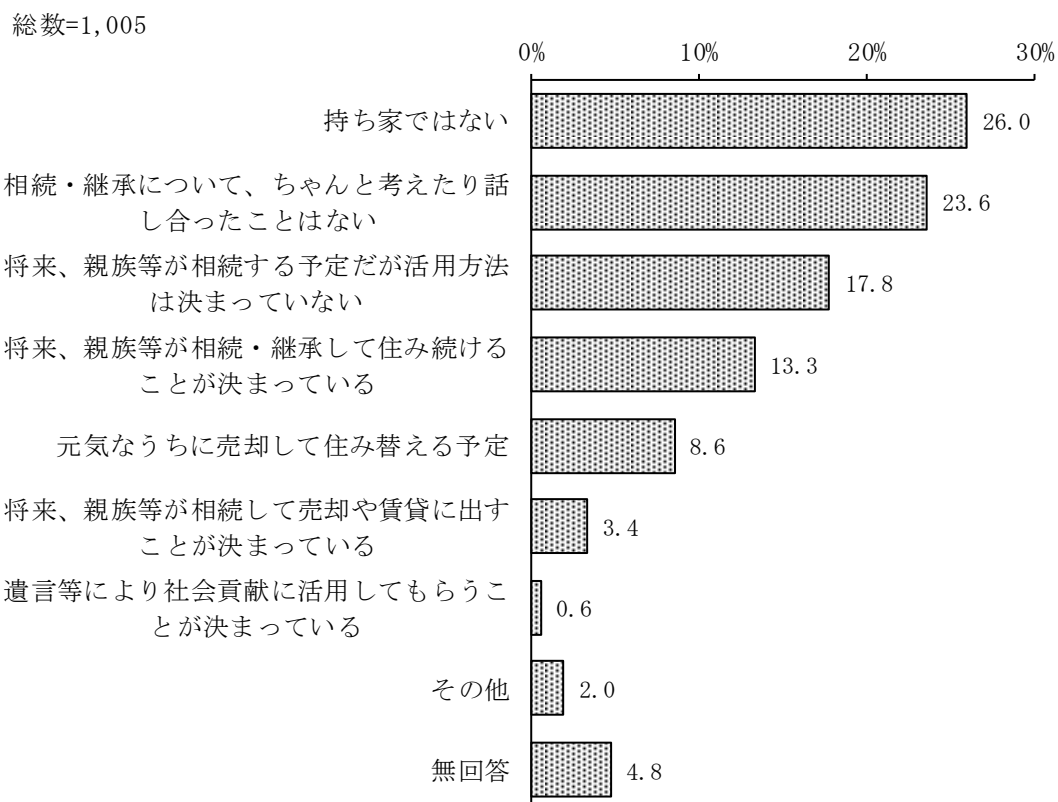
「持家（一戸建て）」が27.6%で最も多く、「民間賃貸マンション（鉄筋コンクリート造、鉄骨造等）」が26.5%、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が18.4%、「公営住宅（都営住宅・市営住宅）」が10.2%で続きます。

問5. 転居しようとした時に困ること、または転居しようとしてできなかった理由



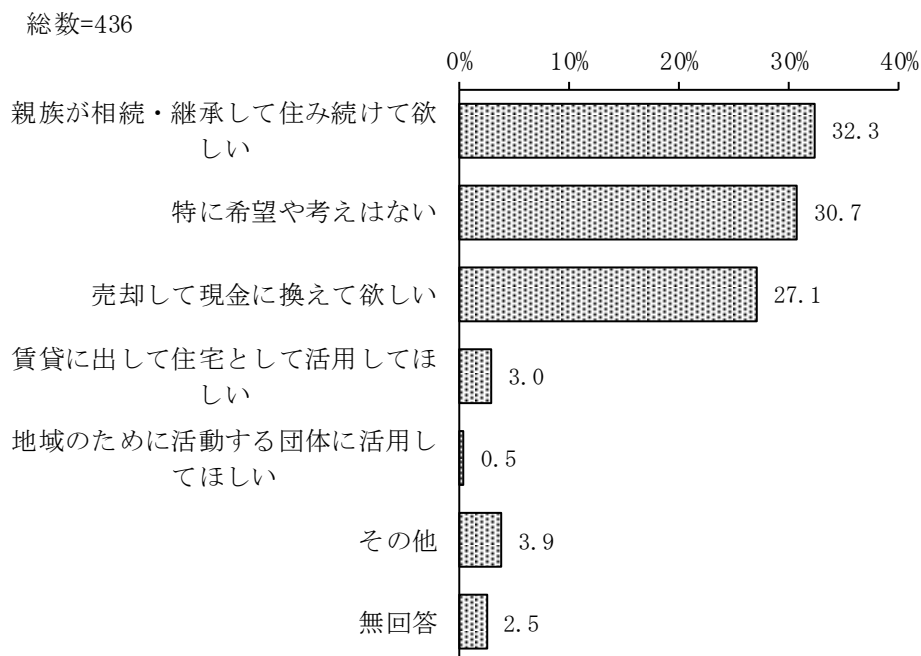
「転居を考えたことはない」が42.6%で最も多く、「引っ越し費用が高い」が19.0%、「希望する家賃の住宅がない」が13.3%、「敷金・礼金などの初期費用が高い」「家財が多いなど引っ越し作業が大変」「転居するための体力や時間がない」が12.8%で続きます。

問6. 自身が亡くなったり、施設に入所したりして住まなくなった場合の相続・継承の見通し



「持ち家ではない」が26.0%で最も多く、「相続・継承について、ちゃんと考えたり話し合ったことはない」が23.6%、「将来、親族等が相続する予定だが活用方法は決まっていない」が17.8%、「将来、親族等が相続・継承して住み続けることが決まっている」が13.3%で続きます。

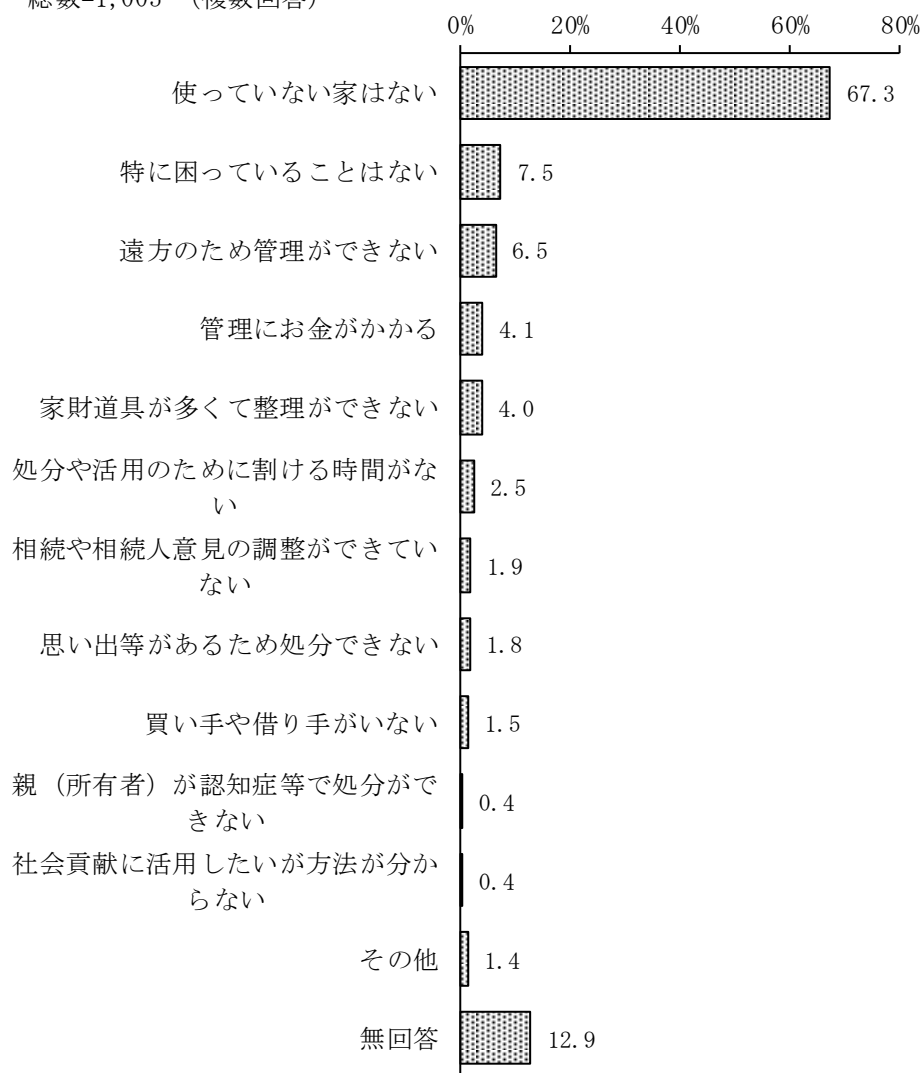
問6-1. 自身が亡くなったり、施設に入所したりして空き家になった場合の活用方法



「親族が相続・継承して住み続けて欲しい」が 32.3%で最も多く、「特に希望や考えはない」が 30.7%、「売却して現金に換えて欲しい」が 27.1%で続きます。

問7. 親の家など、使っていない住宅について困っていること

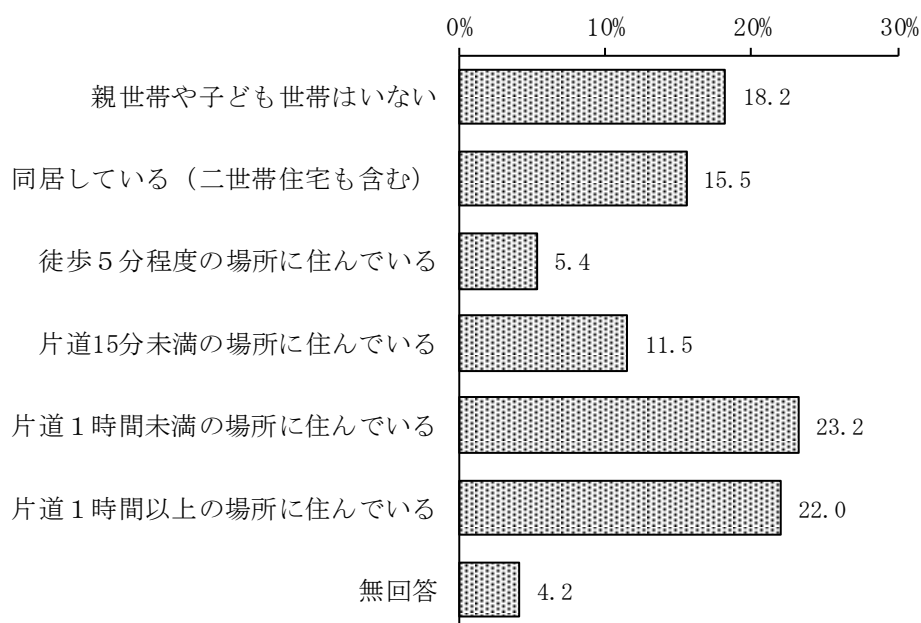
総数=1,005 (複数回答)



「使っていない家はない」が 67.3%で最も多く、「特に困っていることはない」が 7.5%、「遠方のため管理ができない」が 6.5%、「管理にお金がかかる」が 4.1%で続きます。

問8. 同居の有無と近居の距離

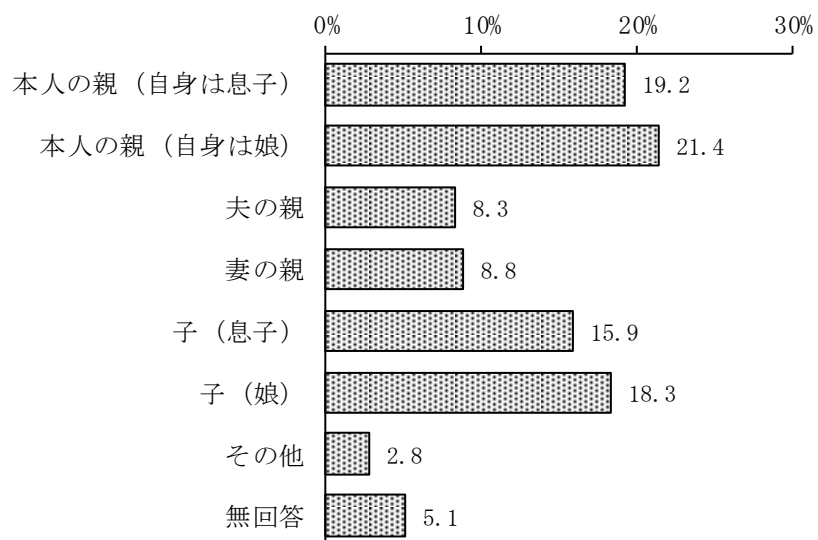
総数=1,005



「片道1時間未満の場所に住んでいる」が23.2%で最も多く、「片道1時間以上の場所に住んでいる」が22.0%、「親世帯や子ども世帯はいない」が18.2%、「同居している (二世帯住宅も含む)」が15.5%で続きます。

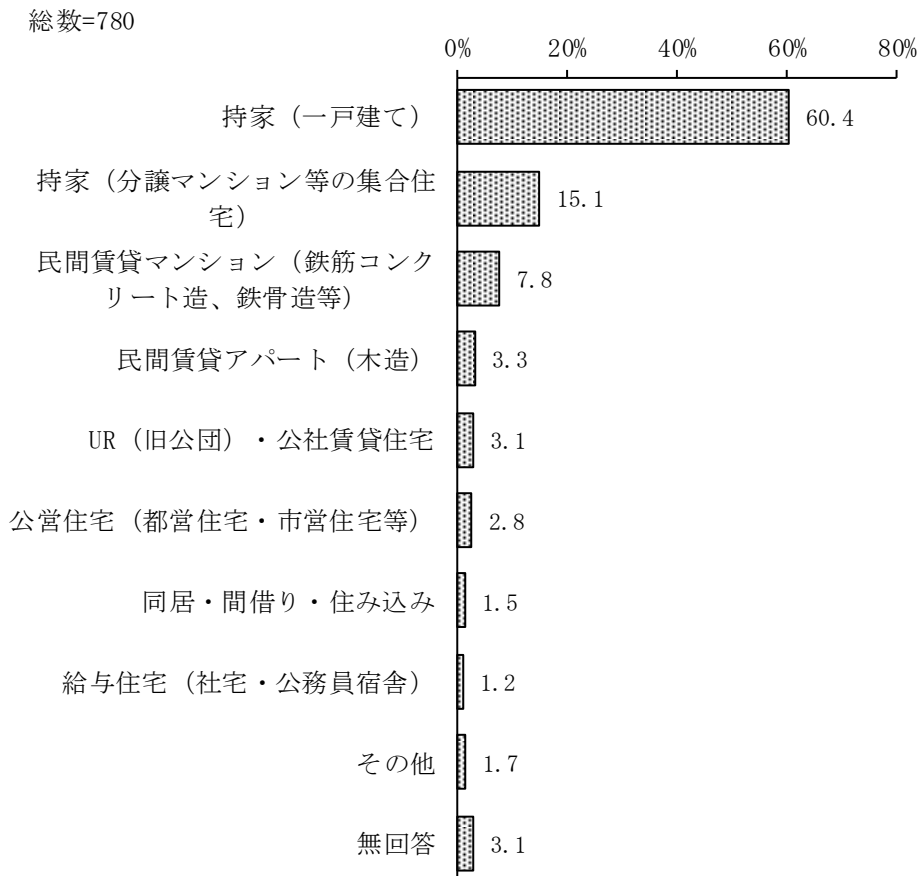
問9. 親世帯や子ども世帯との関係

総数=780



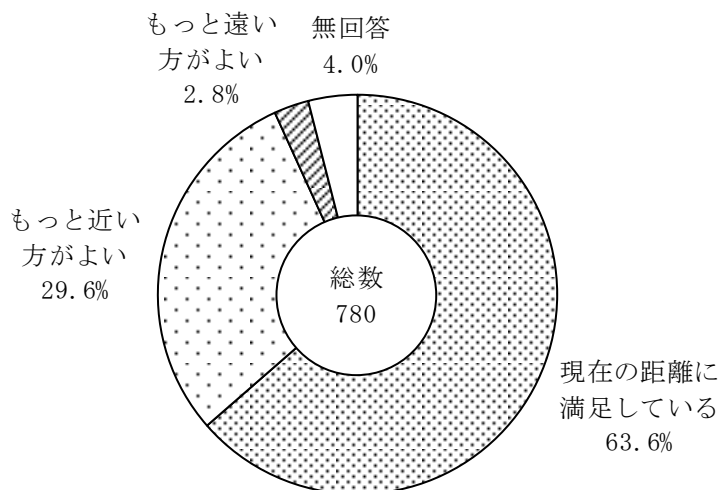
「本人の親 (自身は娘)」が 21.4%で最も多く、「本人の親 (自身は息子)」が 19.2%、「子 (娘)」が 18.3%、「子 (息子)」が 15.9%で続きます。

問 10. 親世帯や子ども世帯の住宅の種類



「持家(一戸建て)」が 60.4%で最も多く、「持家(分譲マンション等の集合住宅)」が 15.1%、「民間賃貸マンション(鉄筋コンクリート造、鉄骨造等)」が 7.8%、「民間賃貸アパート(木造)」が 3.3%で続きます。

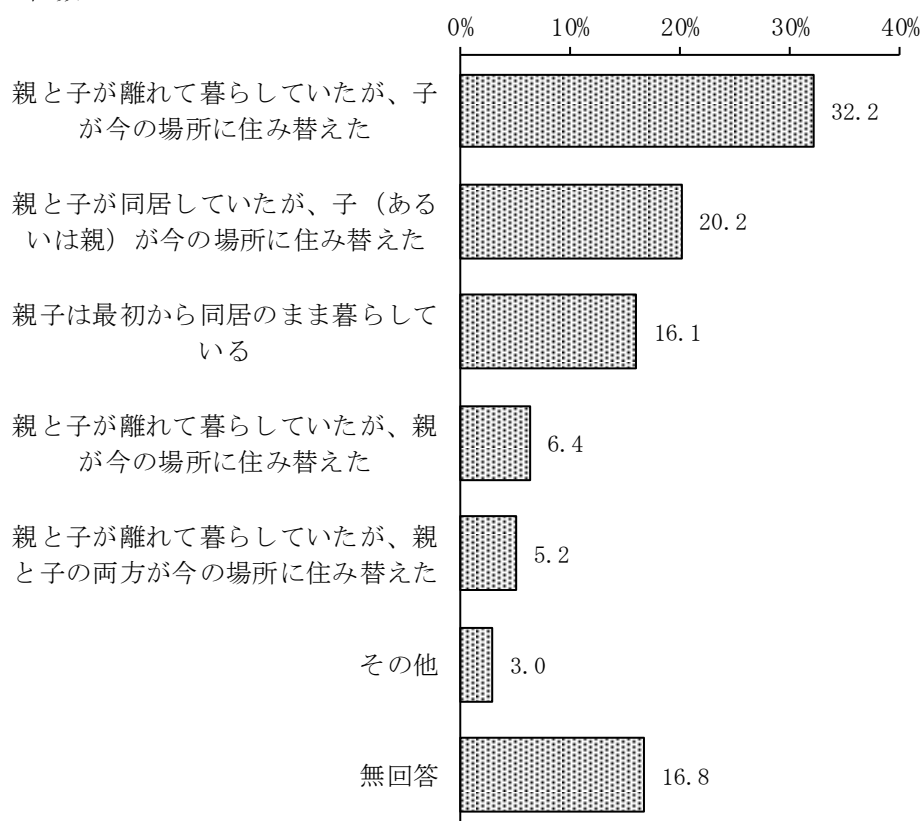
問 11. 現在の親世帯や子ども世帯との住まい方の距離について



「現在の距離に満足している」が 63.6%で最も多く、「もっと近い方がよい」が 29.6%、「もっと遠い方がよい」が 2.8%で続きます。

問 12. 現在の住まい方（同居・近居）をするまでの経緯

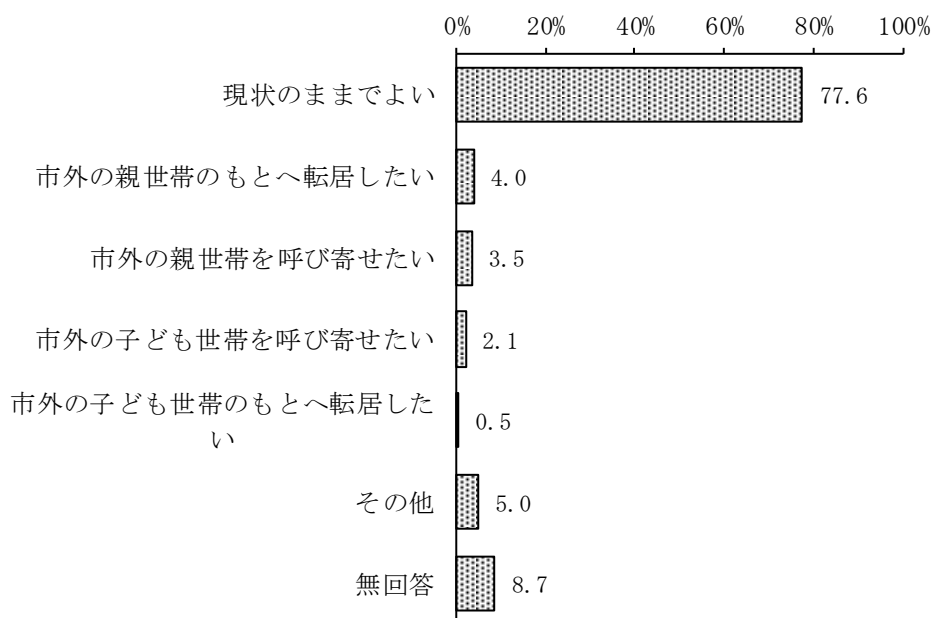
総数=559



「親と子が離れて暮らしていたが、子が今の場所に住み替えた」が 32.2%で最も多く、「親と子が同居していたが、子（あるいは親）が今の場所に住み替えた」が 20.2%、「親子は最初から同居のまま暮らしている」が 16.1%、「親と子が離れて暮らしていたが、親が今の場所に住み替えた」が 6.4%で続きます。

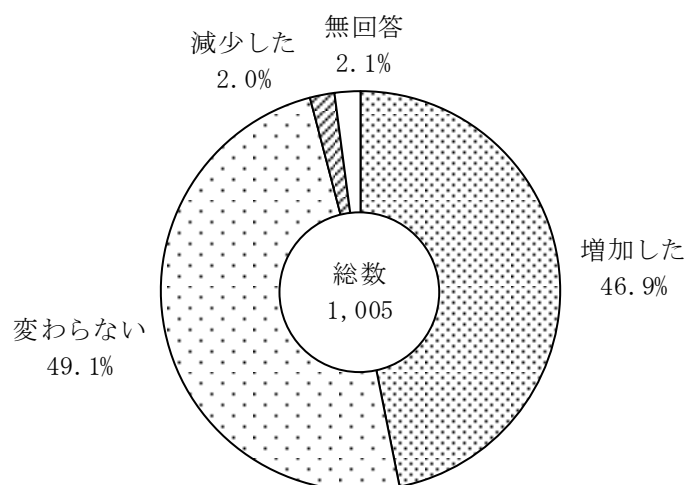
問 13. 将来、親世帯や子ども世帯に望む住まい方

総数=780 (複数回答)



「現状のままでよい」が 77.6%で最も多く、「市外の親世帯のもとへ転居したい」が 4.0%、「市外の親世帯を呼び寄せたい」が 3.5%、「市外の子ども世帯を呼び寄せたい」が 2.1%で続きます。

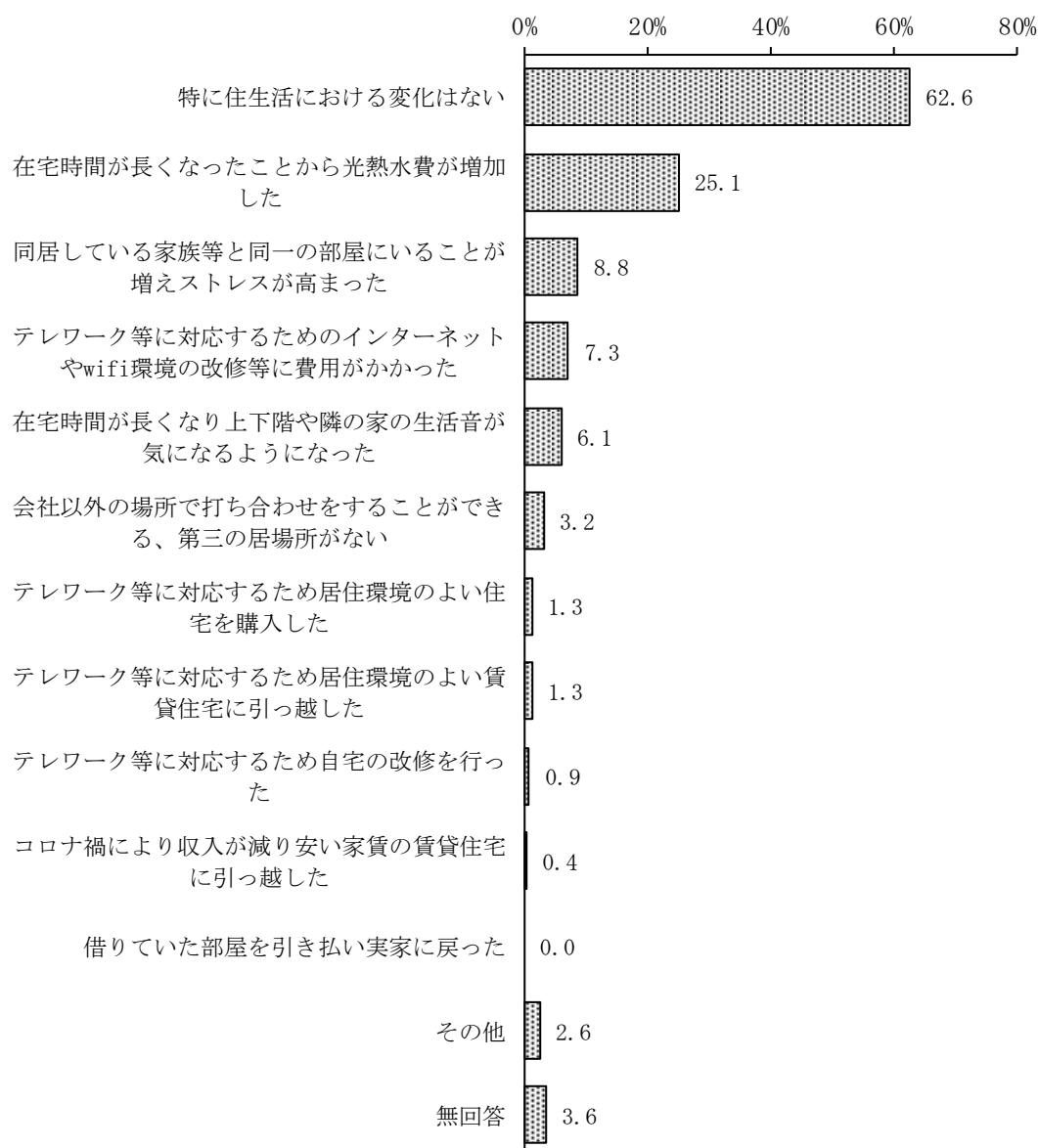
問 14. 新型コロナウイルス感染症拡大前後で在宅時間の変化



「変わらない」が49.1%で最も多く、「増加した」が46.9%、「減少した」が2.0%で続きます。

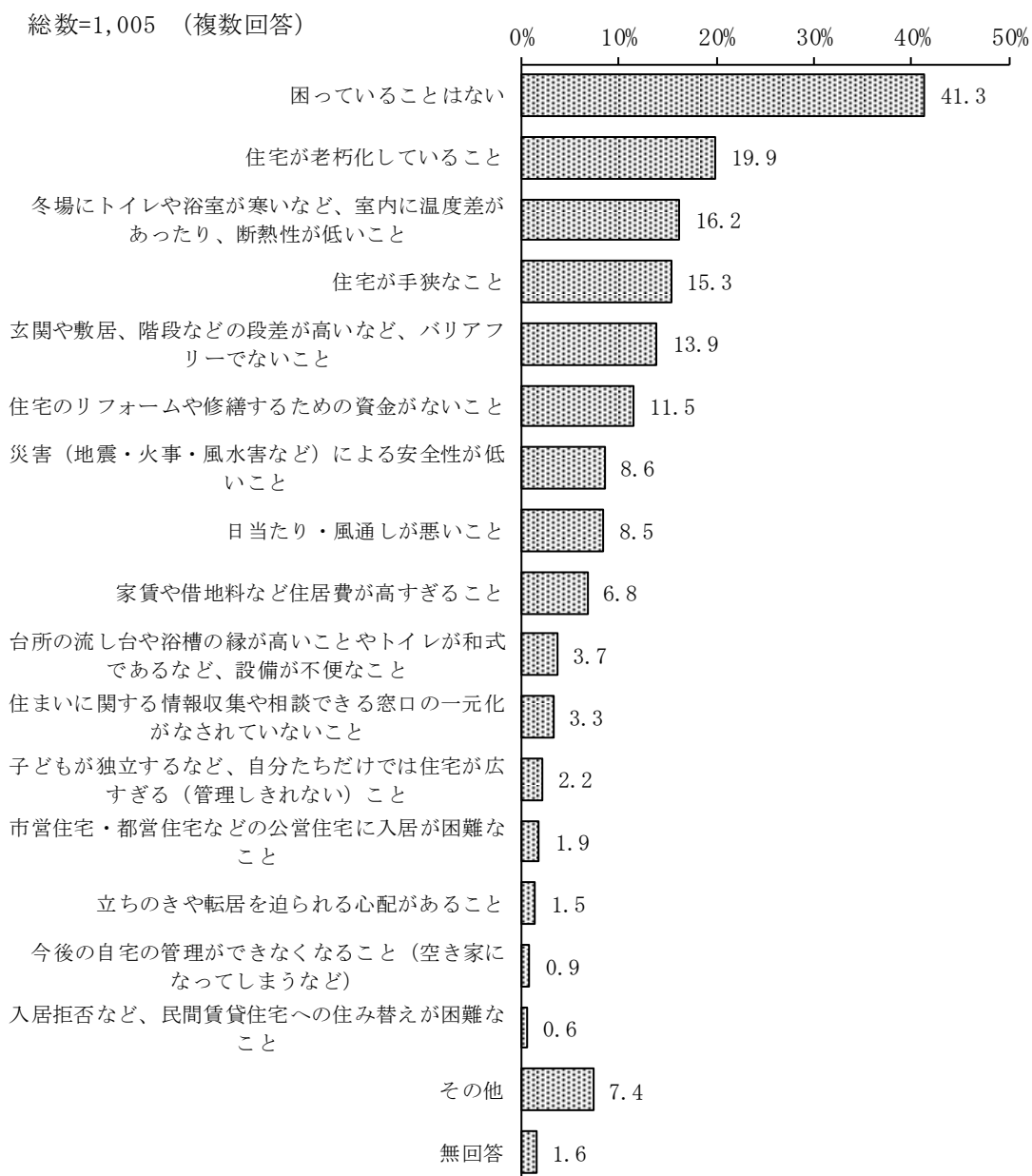
問 15. 新型コロナウイルス感染症拡大による住生活の変化や困りごとについて

総数=1,005 (複数回答)



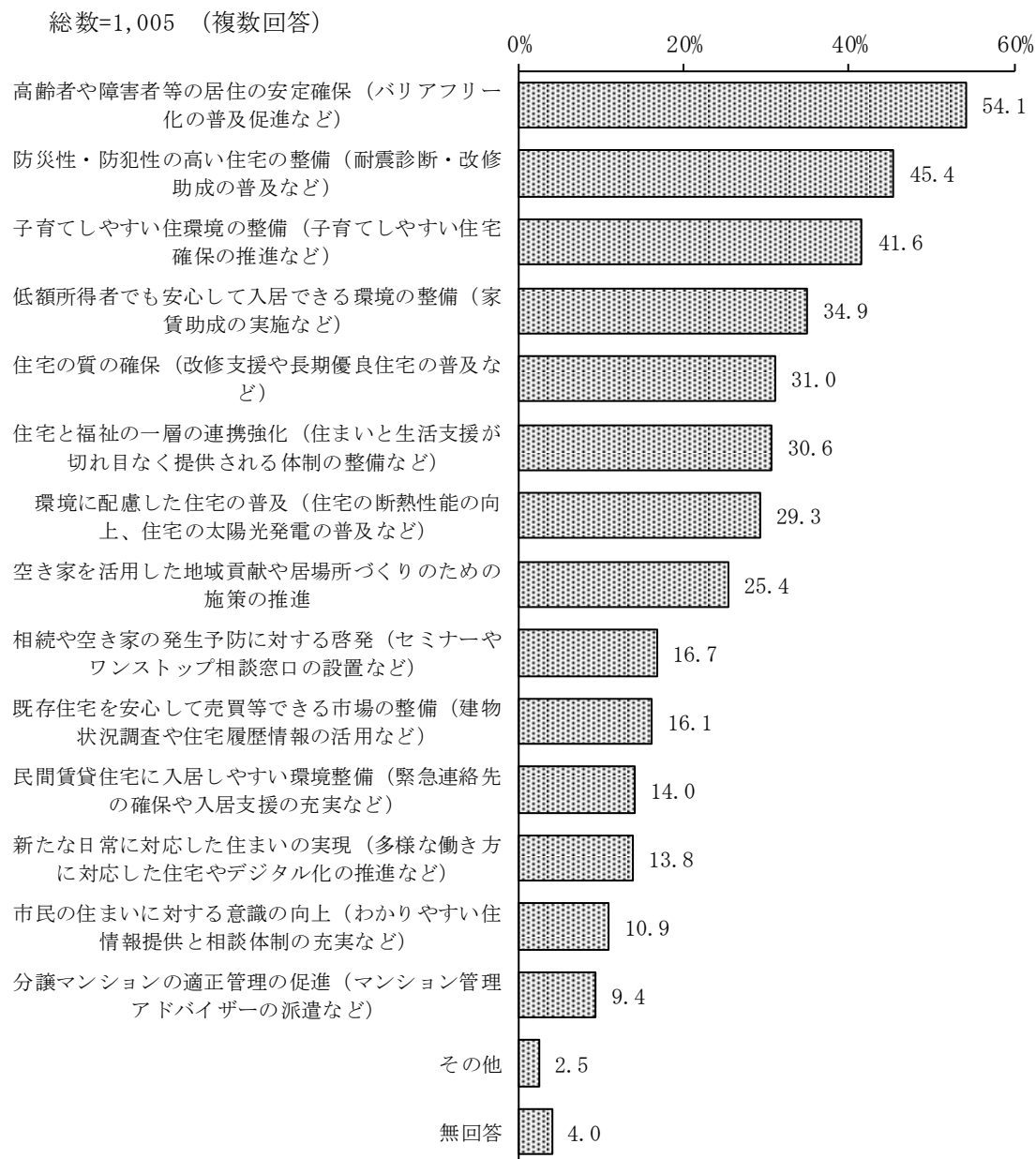
「特に住生活における変化はない」が 62.6%で最も多く、「在宅時間が長くなったことから光熱水費が増加した」が 25.1%、「同居している家族等と同一の部屋にいることが増えストレスが高まった」が 8.8%、「テレワーク等に対応するためのインターネットや wifi 環境の改修等に費用がかかった」が 7.3%で続きます。

問 16. 現在の住まいについての困りごと



「困っていることはない」が 41.3%で最も多く、「住宅が老朽化していること」が 19.9%、「冬場にトイレや浴室が寒いなど、室内に温度差があったり、断熱性が低いこと」が 16.2%、「住宅が手狭なこと」が 15.3%で続きます。

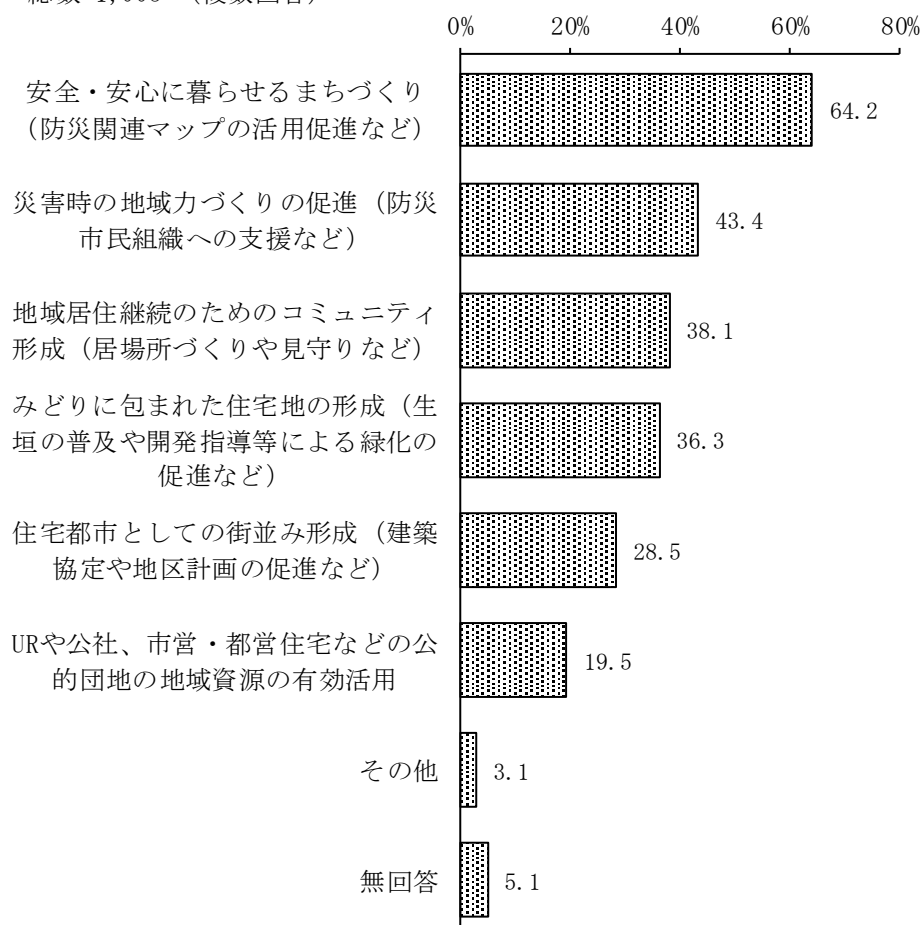
問 17. 今後の住宅に対する取組みとして特に重要だと思うもの



「高齢者や障害者等の居住の安定確保 (バリアフリー化の普及促進など)」が 54.1%で最も多く、「防災性・防犯性の高い住宅の整備 (耐震診断・改修助成の普及など)」が 45.4%、「子育てしやすい住環境の整備 (子育てしやすい住宅確保の推進など)」が 41.6%、「低額所得者でも安心して入居できる環境の整備 (家賃助成の実施など)」が 34.9%で続きます。

問 18. 今後の住環境に対する取組みとして特に重要だと思うもの

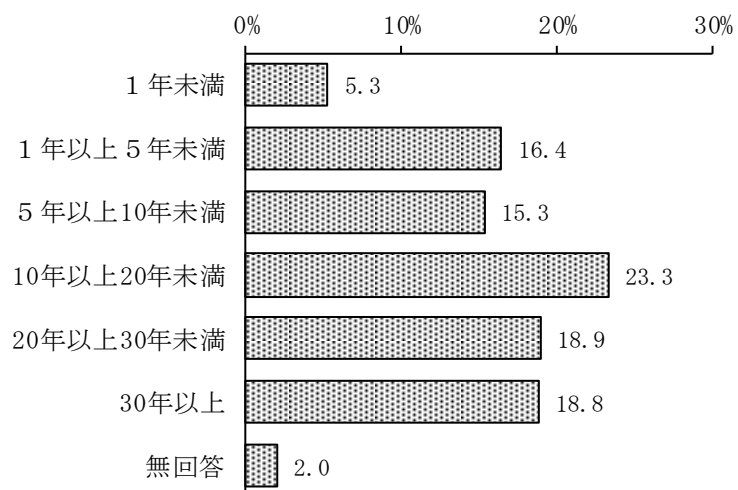
総数=1,005 (複数回答)



「安全・安心に暮らせるまちづくり (防災関連マップの活用促進など)」が 64.2%で最も多く、「災害時の地域力づくりの促進 (防災市民組織への支援など)」が 43.4%、「地域居住継続のためのコミュニティ形成 (居場所づくりや見守りなど)」が 38.1%、「みどりに包まれた住宅地の形成 (生垣の普及や開発指導等による緑化の促進など)」が 36.3%で続きます。

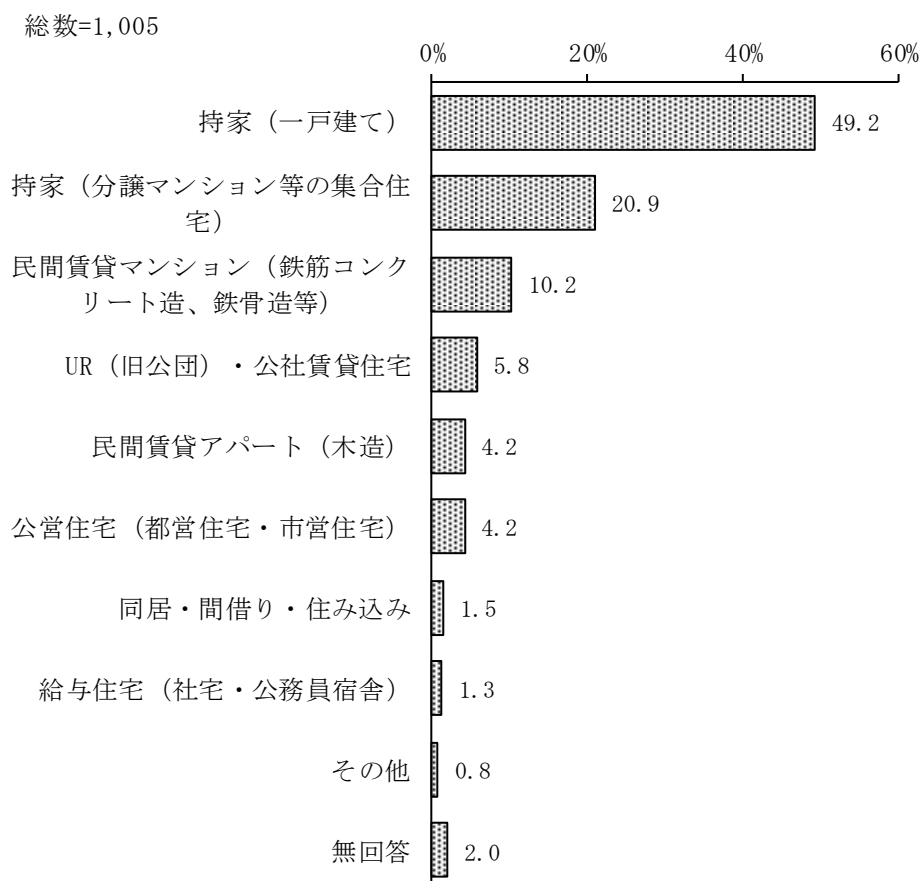
問 19. 現在の住まいの居住年数

総数=1,005



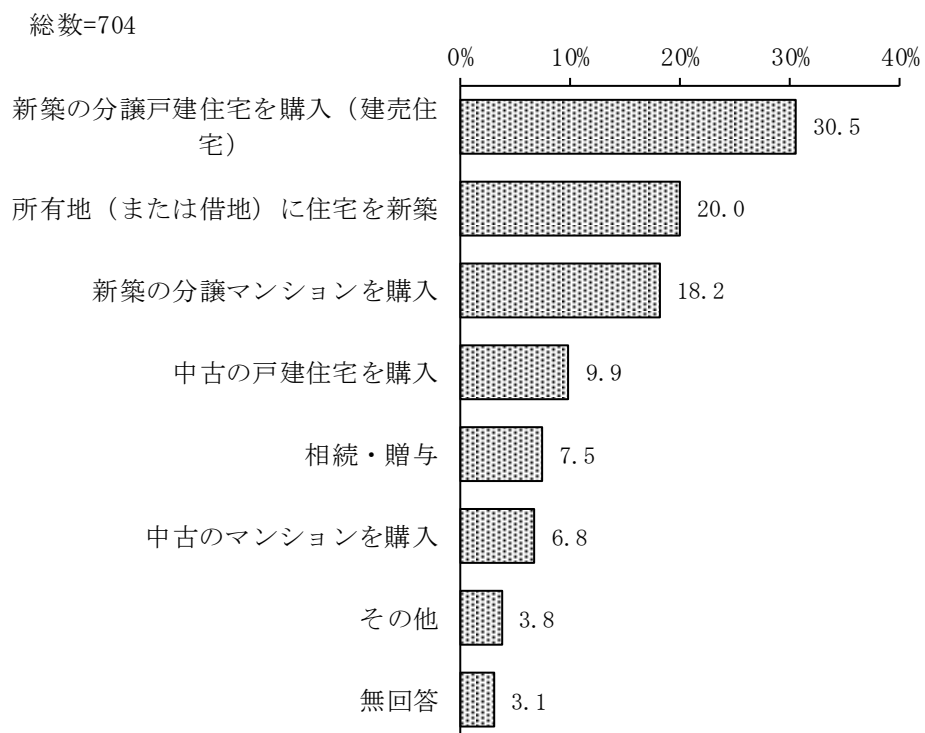
「10年以上 20年未満」が 23.3%で最も多く、「20年以上 30年未満」が 18.9%、「30年以上」が 18.8%、「1年以上 5年未満」が 16.4%で続きます。

問 20. 現在の住宅の種類



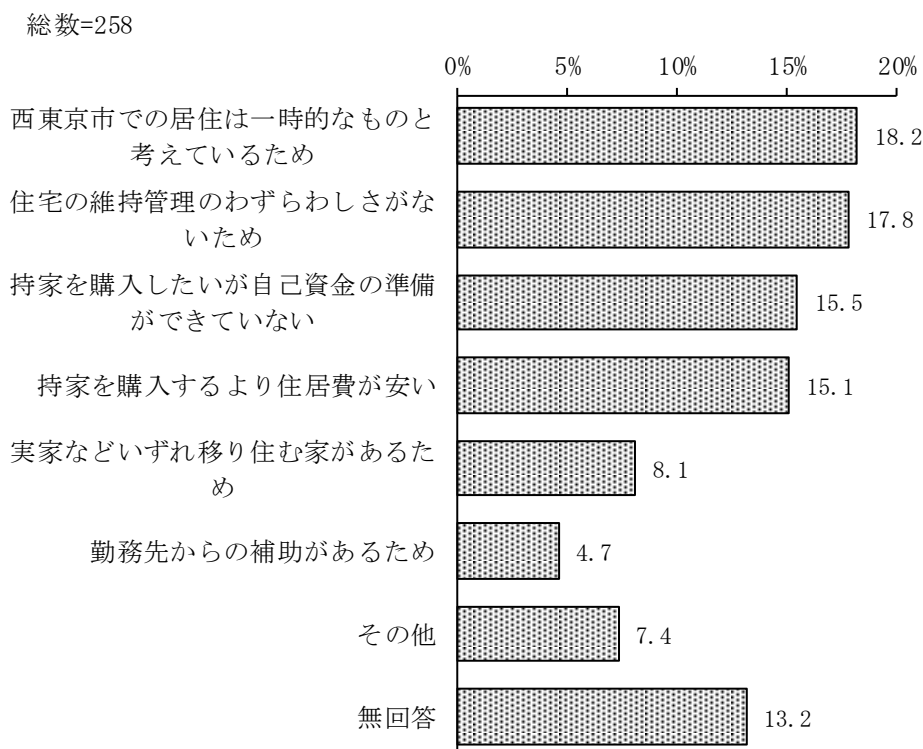
「持家(一戸建て)」が 49.2%で最も多く、「持家(分譲マンション等の集合住宅)」が 20.9%、「民間賃貸マンション(鉄筋コンクリート造、鉄骨造等)」が 10.2%、「UR(旧公団)・公社賃貸住宅」が 5.8%で続きます。

問 20－ 1. 持家の場合、現在の住まいを取得した方法



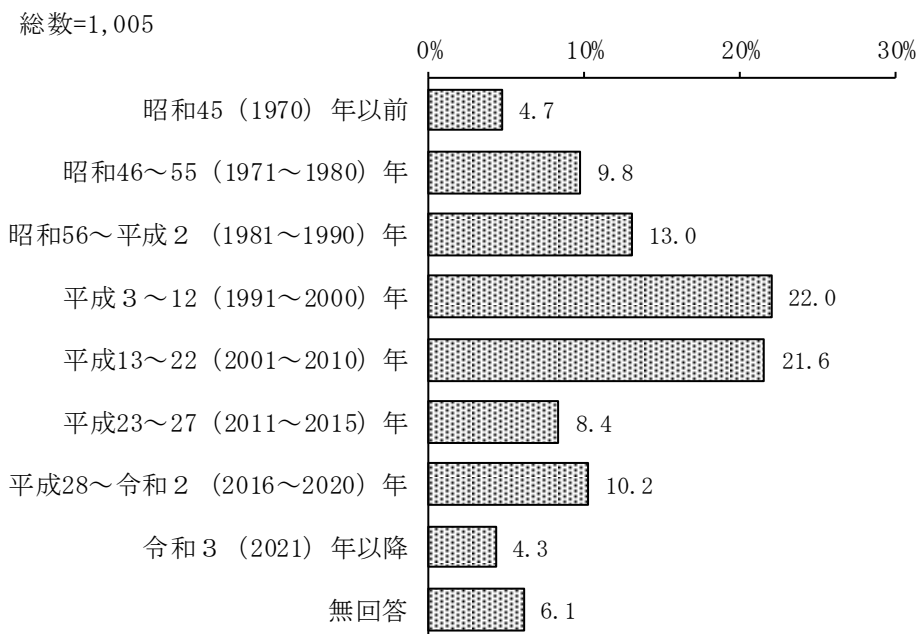
「新築の分譲戸建住宅を購入 (建売住宅)」が 30.5%で最も多く、「所有地 (または借地) に住宅を新築」が 20.0%、「新築の分譲マンションを購入」が 18.2%、「中古の戸建住宅を購入」が 9.9%で続きます。

問 20－ 2. 借家に住まいの理由



「西東京市での居住は一時的なものと考えているため」が 18.2%で最も多く、「住宅の維持管理のわずらわしさがないたため」が 17.8%、「持家を購入したいが自己資金の準備ができていない」が 15.5%、「持家を購入するより住居費が安い」が 15.1%で続きます。

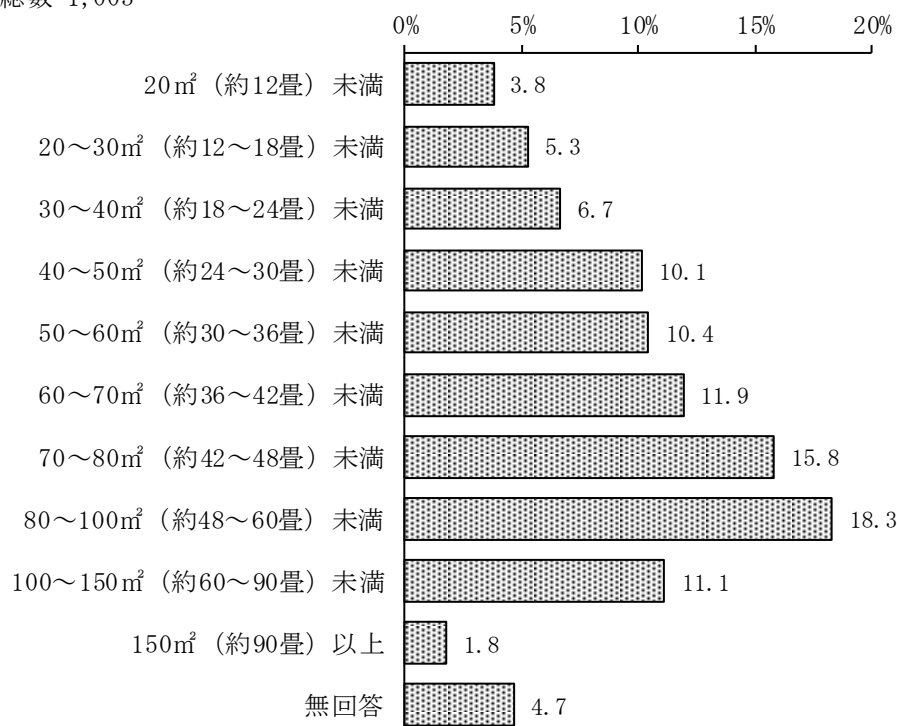
問 21. 住まいの建築時期



「平成3~12 (1991~2000) 年」が 22.0%で最も多く、「平成13~22 (2001~2010) 年」が 21.6%、「昭和56~平成2 (1981~1990) 年」が 13.0%、「平成28~令和2 (2016~2020) 年」が 10.2%で続きます。

問 22. 住まいの広さ

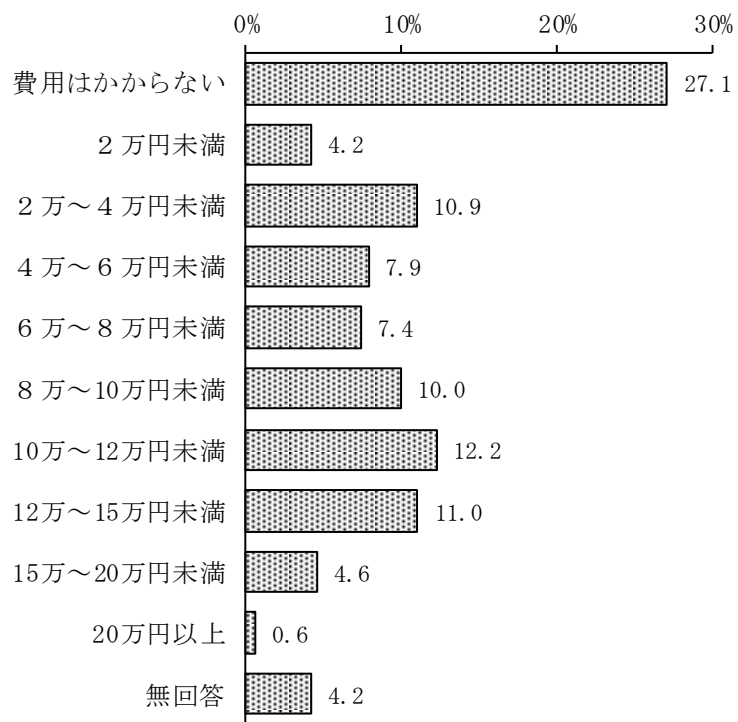
総数=1,005



「80~100㎡ (約48~60畳) 未満」が18.3%で最も多く、「70~80㎡ (約42~48畳) 未満」が15.8%、「60~70㎡ (約36~42畳) 未満」が11.9%、「100~150㎡ (約60~90畳) 未満」が11.1%で続きます。

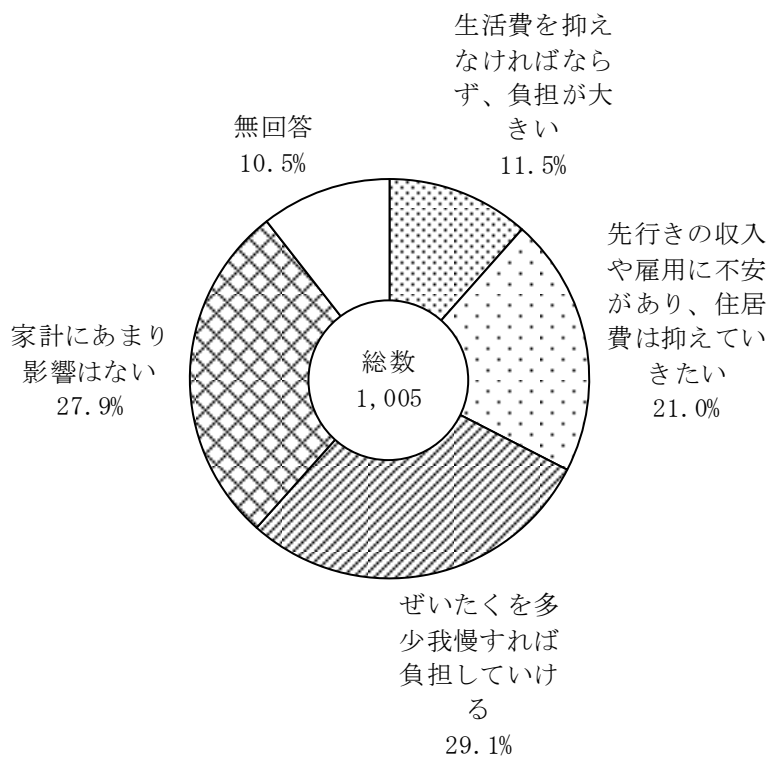
問 23. 住まいの月額に住居費

総数=1,005



「費用はかからない」が 27.1%で最も多く、「10万～12万円未満」が 12.2%、「12万～15万円未満」が 11.0%、「2万～4万円未満」が 10.9%で続きます。

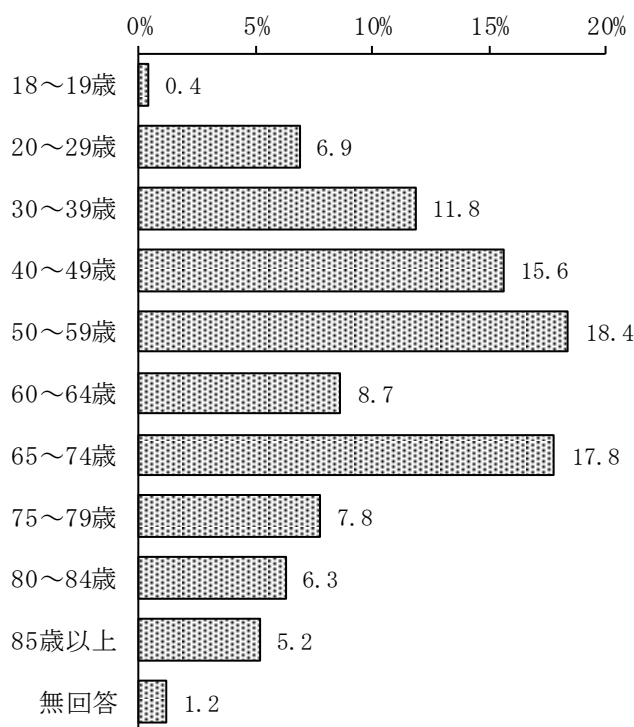
問 24. 住まいの住居費について感じていること



「ぜいたくを多少我慢すれば負担していただける」が 29.1%で最も多く、「家計にあまり影響はない」が 27.9%、「先行きの収入や雇用に不安があり、住居費は抑えていきたい」が 21.0%、「生活費を抑えなければならず、負担が大きい」が 11.5%で続きます。

問 25. 年齢

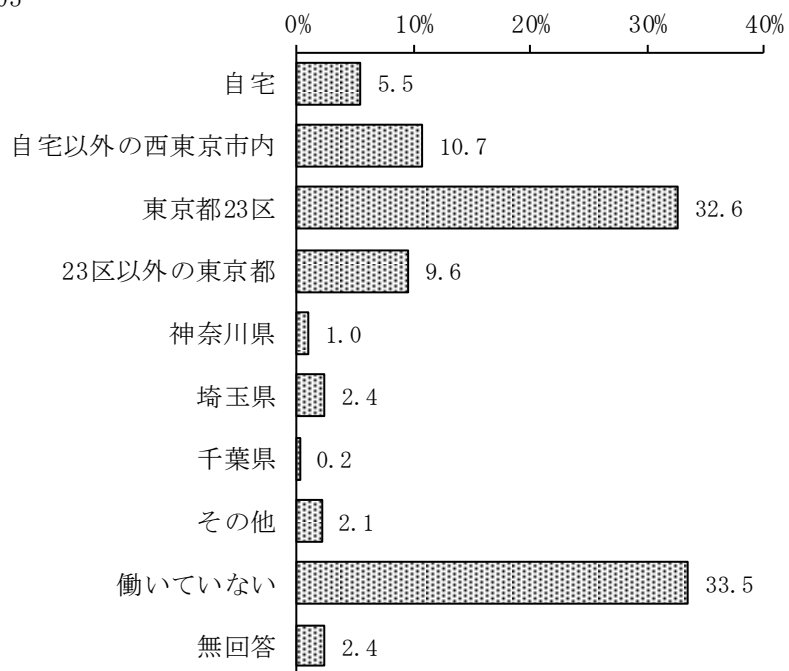
総数=1,005



「50~59歳」が18.4%で最も多く、「65~74歳」が17.8%、「40~49歳」が15.6%、「30~39歳」が11.8%で続きます。

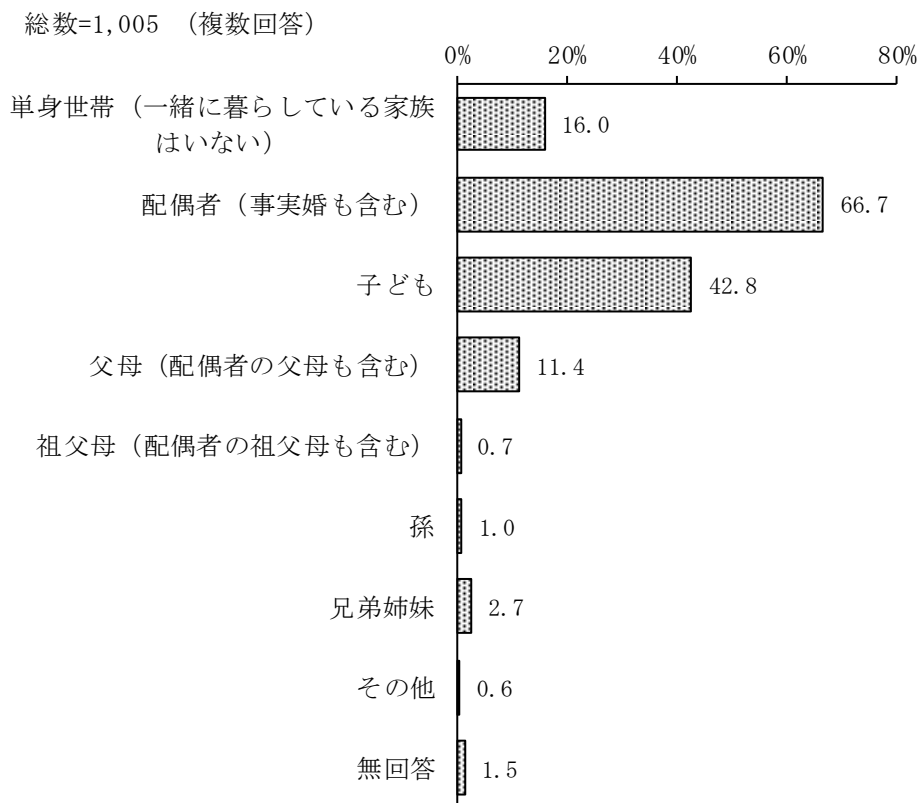
問 26. 勤務先等

総数=1,005



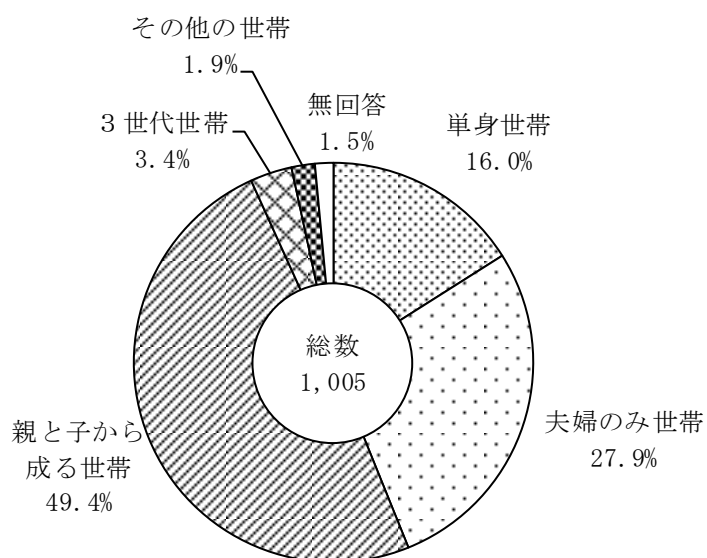
「働いていない」が 33.5%で最も多く、「東京都 23 区」が 32.6%、「自宅以外の西東京市内」が 10.7%、「23 区以外の東京都」が 9.6%で続きます。

問 27. 世帯の種類



「配偶者 (事実婚も含む)」が 66.7%で最も多く、「子ども」が 42.8%、「単身世帯 (一緒に暮らしている家族はいない)」が 16.0%、「父母 (配偶者の父母も含む)」が 11.4%で続きます。

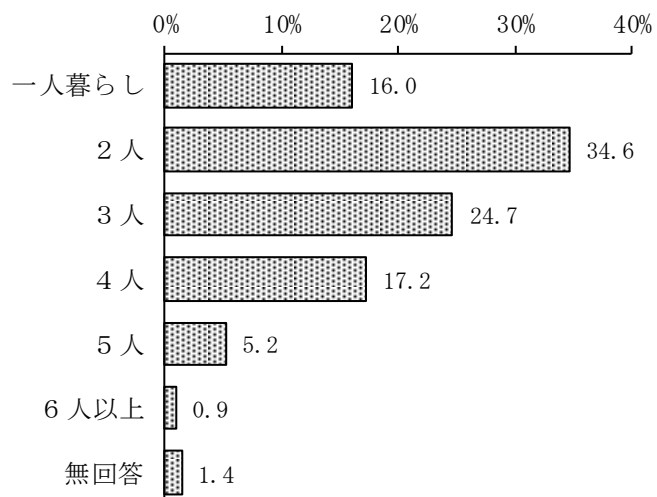
問 27. 世帯の種類／5区分



「親と子から成る世帯」が 49.4%で最も多く、「夫婦のみ世帯」が 27.9%、「単身世帯」が 16.0%、「3世代世帯」が 3.4%で続きます。

問 28. 世帯人員数

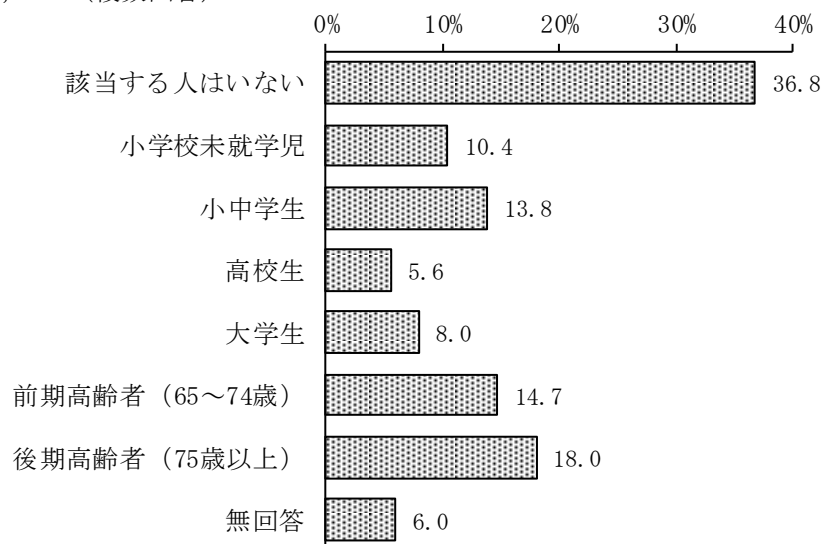
総数=1,005



「2人」が 34.6%で最も多く、「3人」が 24.7%、「4人」が 17.2%、「一人暮らし」が 16.0%で続きます。

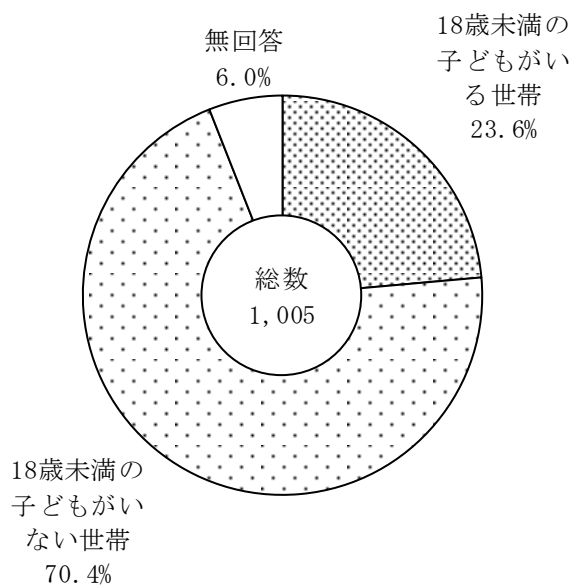
問 29. 18 歳未満の子どもがいる世帯

総数=1,005 (複数回答)



「該当する人はいない」が 36.8%で最も多く、「後期高齢者 (75 歳以上)」が 18.0%、「前期高齢者 (65～74 歳)」が 14.7%、「小中学生」が 13.8%で続きます。

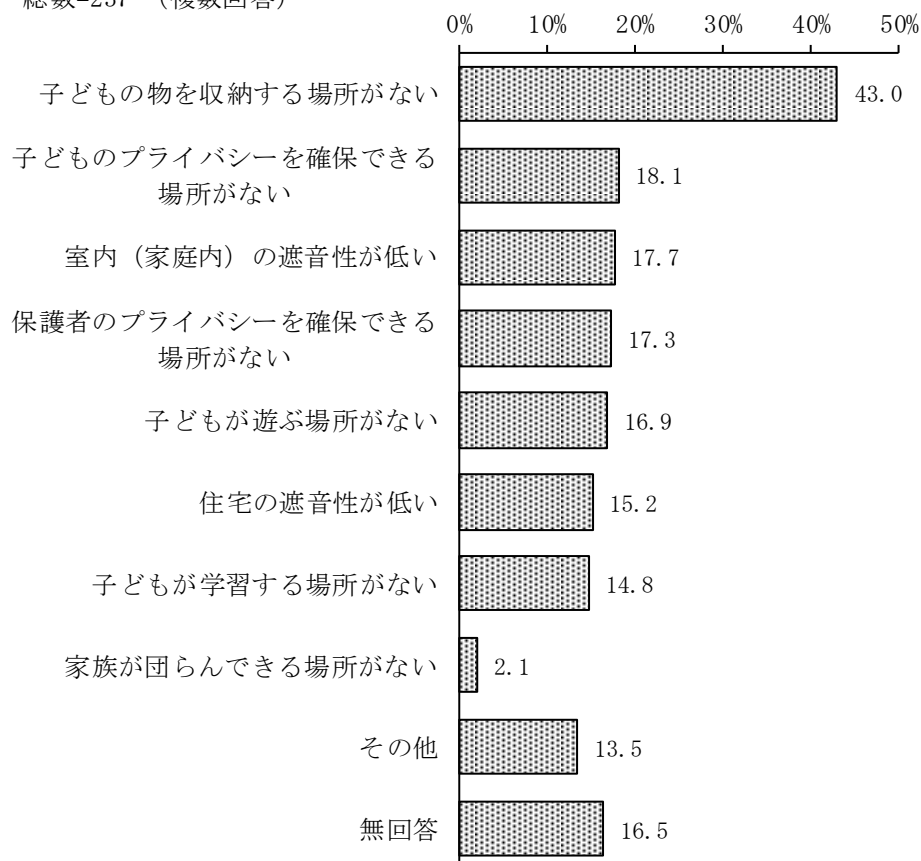
問 29. 18 歳未満の子どもがいる世帯／2 区分



「18 歳未満の子どもがいない世帯」は 70.4%、「18 歳未満の子どもがいる世帯」は 23.6% となっています。

問 29-1. 子育てをする上で住宅に関して困っていること

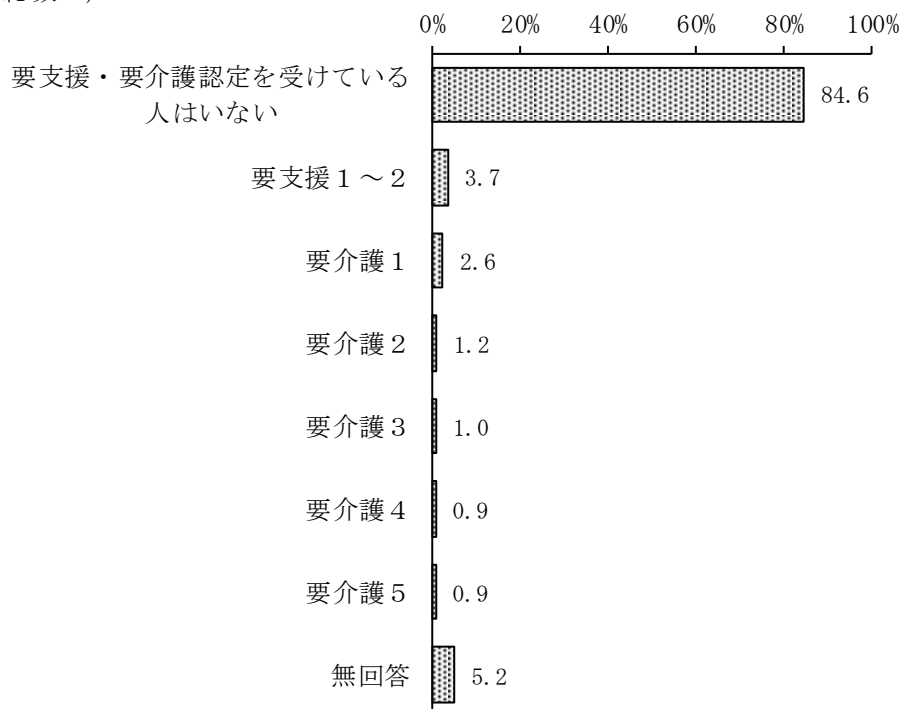
総数=237 (複数回答)



「子どもの物を収納する場所がない」が43.0%で最も多く、「子どものプライバシーを確保できる場所がない」が18.1%、「室内(家庭内)の遮音性が低い」が17.7%、「保護者のプライバシーを確保できる場所がない」が17.3%で続きます。

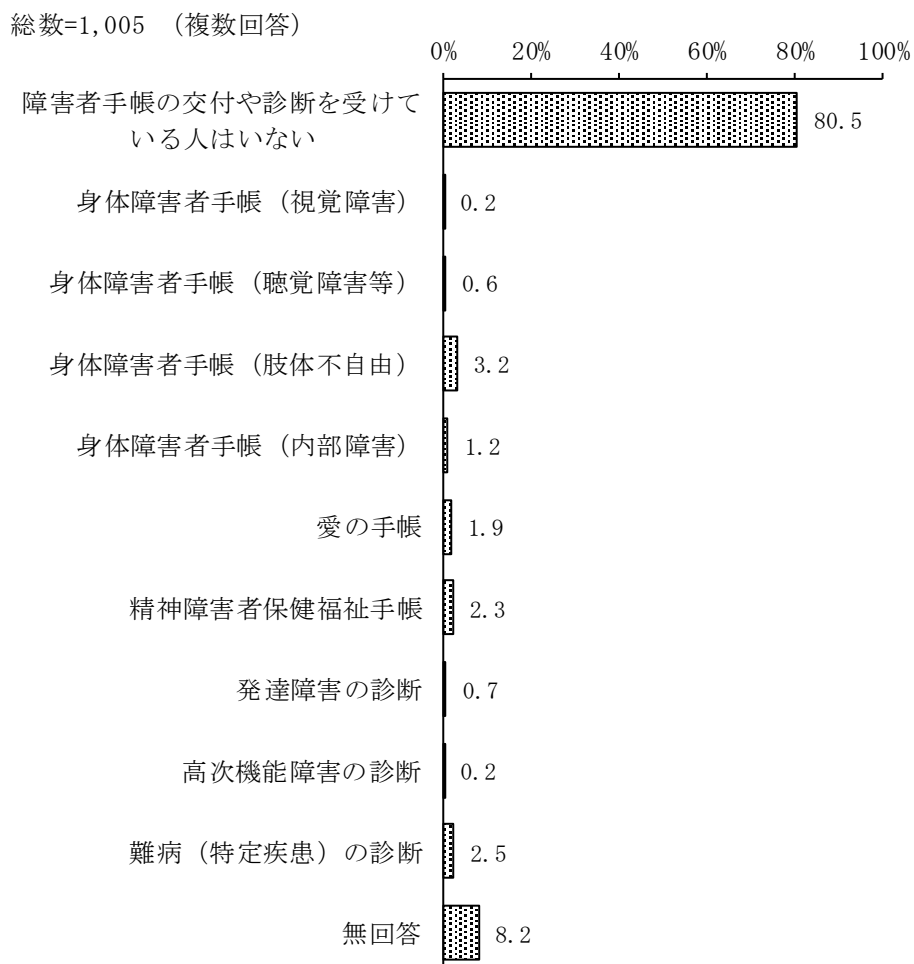
問 30. 自身も含めて世帯に要介護認定を受けている方

総数=1,005



「要支援・要介護認定を受けている人はいない」が 84.6%で最も多く、「要支援 1～2」が 3.7%、「要介護 1」が 2.6%、「要介護 2」が 1.2%で続きます。

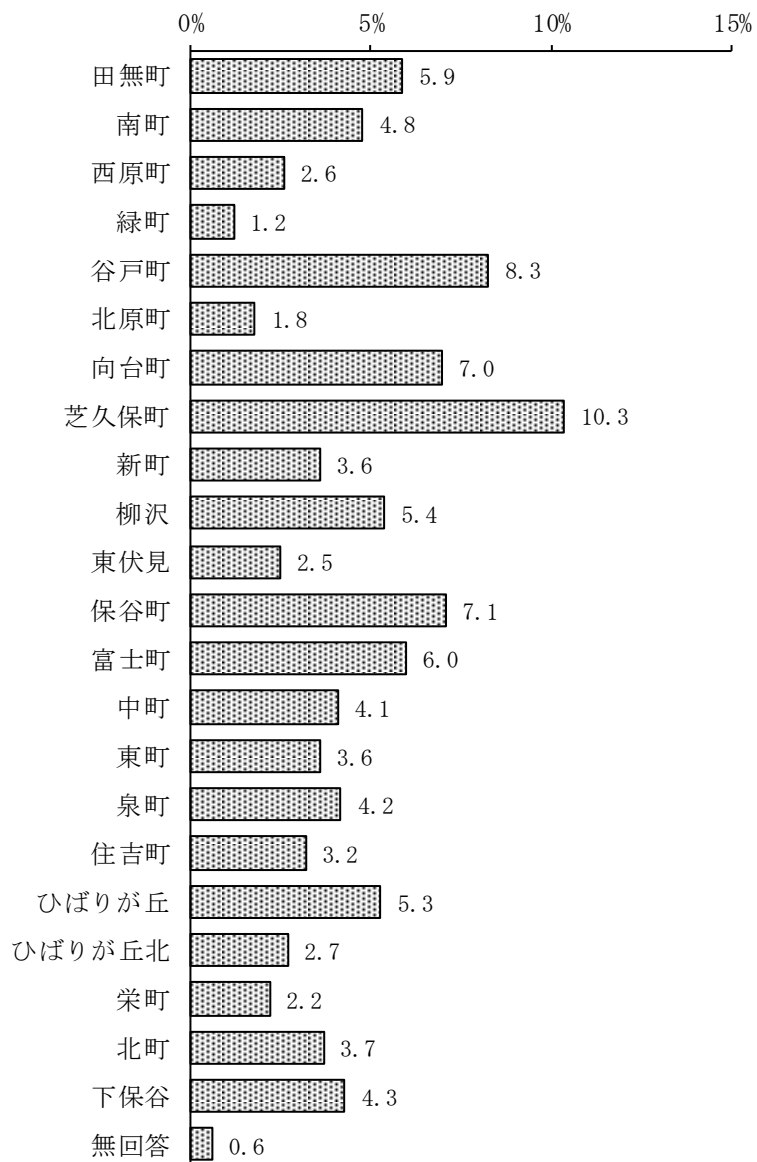
問 31. 自身も含めて世帯に障害者手帳の交付や診断を受けている人



「障害者手帳の交付や診断を受けている人はいない」が 80.5%で最も多く、「身体障害者手帳 (肢体不自由)」が 3.2%、「難病 (特定疾患) の診断」が 2.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が 2.3%で続きます。

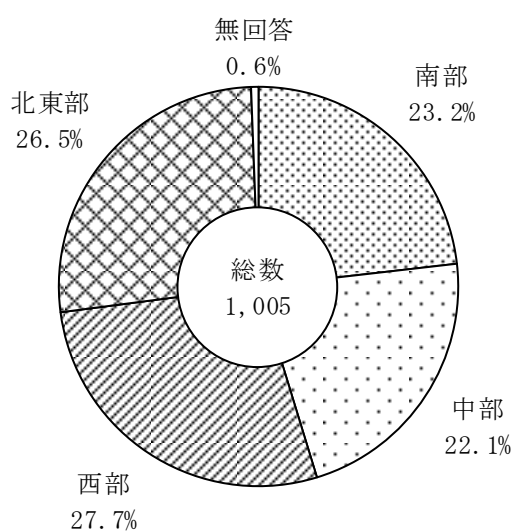
問 32. 居住地域

総数=1,005



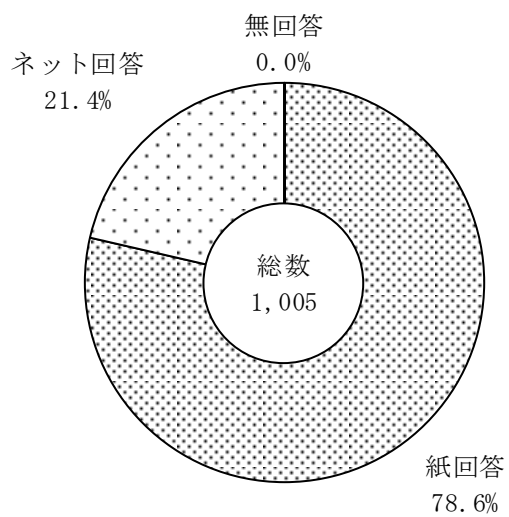
「芝久保町」が 10.3%で最も多く、「谷戸町」が 8.3%、「保谷町」が 7.1%、「向台町」が 7.0%で続きます。

問 32. 居住地域／4区分



「西部」が 27.7%で最も多く、「北東部」が 26.5%、「南部」が 23.2%、「中部」が 22.1%で続きます。

■回答方法



「紙回答」は78.6%、「ネット回答」は21.4%となっています。